

S	環境デザイン概論[ランドスケープデザイン] スターター	科目コード： 73000
配当年次	1年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	なし 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること ※入学1年目に受講することが望ましい	
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン概論 [ランドスケープデザイン] スターターK 開催日程：2019年5月25日（土）～ 2019年5月26日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：なし 環境デザイン概論 [ランドスケープデザイン] スターターT 開催日程：2019年5月18日（土）～ 2019年5月19日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：なし	
担当者	井上智治、藤部恭代ほか（京都）河野潤、山本努ほか（東京）高梨武彦*	

科目概要と到達目標

本科目では、ランドスケープデザインを学ぶにあたって、1年次専門演習テキスト科目の取り組み方についての要点を学びます。
学生生活のスタートラインとなるスクーリングですから、是非とも受講して欲しいスクーリングです。

評価基準と成績評価方法

1. 事前課題への取り組み
2. 美しいシートの作成
3. 授業への取り組み

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、テキスト科目の提出へ結びつけられるように授業の復習をするよう努力しましょう。取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『造園史』、『木と森の生態そして花の意匠』 『ランドスケープデザインと環境保全』
参考文献・URL	なし

課題

この課題の意図はランドスケープデザインコースでの学び方を学ぶことにあります。1年次テキスト科目のガイダンスや制作体験を行い、卒業までの学習のすすめ方や各自の履修計画の確認を行います。事前課題に取り組み授業に備えること。

授業計画

【京都・東京会場】

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1講時 自己紹介／履修モデルの確認

2講時 コース専門演習テキスト科目（1年次配当科目）の進め方レクチャー

3～4講時 「環境デザイン演習I-2（ランドスケープデザイン表現基礎）」スケッチ練習

5講時 講評／総括

●2日目

1～2講時 コース専門演習テキスト科目（1年次配当科目）の進め方レクチャー

3～4講時 「デザイン基礎1（設計製図基礎）」図面のトレース／講評

5講時 総括／学習相談

受講にあたって

●持参物

1. 事前課題

2. airUマイページよりコース演習テキスト科目のシラバスを出力したもの（1年次配当の4科目分）

・「デザイン基礎1（ランドスケープデザイン）」

・「デザイン基礎2（ランドスケープデザイン）」

・「環境デザイン演習［ランドスケープデザイン］ I-1」

・「環境デザイン演習［ランドスケープデザイン］ I-2」

3. 「製図用具」一式（『コースガイド』p.24「製図用具」参照）

4. スケッチブック（コース指定のものが望ましい／『コースガイド』p.28参照）

5. 付箋（75mm×25mmサイズ程度の小さなもので可、3色程度準備）

6. 「デザイン基礎1（ランド）」課題用付録：A2判図面（帯状）トレース図面4枚

●可能な限り持参するもの

1. デジタルカメラ

2. ハンディタイプの樹木図鑑（『コースガイド』p.26「フィールドワーク用具」参照）

3. 虫よけスプレー

4. 鉛筆、練り消しゴム

●コース貸出・支給

1. 製図版・T定規

2. デザインシート（成果物作成用／A4×3枚）

3. 普通紙（A4×10枚）

4. A4モノクロ複合機

●注意事項

初日は屋外にてスケッチをします。
長袖、長ズボン、歩きやすい靴で来てください。

S	環境デザイン [ランドスケープデザイン] I-1 ランドスケープデザイン総説 科目コード： 73001
配当年次	1年次～
単位数	1
履修の前提条件	なし 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること ※入学1年目に受講することが望ましい
開講日程・開講地・定員	環境デザイン [ランドスケープデザイン] I-1(ランドスケープデザイン総説)K 開催日程：2019年6月22日（土）～ 2019年6月23日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：40 環境デザイン [ランドスケープデザイン] I-1(ランドスケープデザイン総説)T 開催日程：2019年6月1日（土）～ 2019年6月2日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：40
担当者	尼崎博正、平井幸輝、石山麻子（京都）高崎康隆、今井直久、齋藤広道（東京）高梨武彦*

科目概要と到達目標

本科目では、ランドスケープデザイン概論、および樹木実習（フィールドワーク）を通じて樹木の同定（分類）の仕方について学びます。これら相互の関連性について習得し、多様なランドスケープデザインの魅力・奥深さに気づくとともに、自然への姿勢を学びとることを目指します。

評価基準と成績評価方法

1. 基礎的なフィールドワークの理解
2. 基礎的な庭園空間の特性理解
3. 基礎的な樹木同定の理解

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『造園史』 pp.87～104、『木と森の生態そして花の意匠』第1章・第3章 『ランドスケープデザインと環境保全』第2章・第3章
参考文献・URL	植物図鑑についてはテキスト科目「デザイン基礎2（ランドスケープデザイン）樹木ファイル制作」の参考文献欄を参照

課題

ランドスケープデザインを学ぶにあたって基本となる生態学そしてデザインに関する概論、また日本庭園の時代背景といった基礎的内容や実際の作庭、さらに樹木および植栽デザインについて学びます。2日目の樹木実習では、樹木同定、樹木学基礎の説明によって、樹木成長特性や管理、設計への留意点などを総合的に学びます。

●成果物

樹木リストとその特性のとりまとめやスケッチの仕上げ（A4×1～2枚）

授業計画

【京都会場】

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1講時 講義 ガイダンス・森林美学概論

2講時 講義 地域計画とランドスケープデザイン

3講時 講義 作庭と研究の楽しさ

4～5講時 実習 アートとしてのランドスケープデザイン（手ぼうき造り）

●2日目

1～4講時 樹木実習／スケッチ作成（瓜生山キャンパスおよびその周辺）

5講時 スケッチ仕上げ（教室）

【東京会場】

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1講時 講義 ガイダンス・森林美学概論

2講時 講義 地域計画とランドスケープデザイン

3講時 講義 作庭と研究の楽しさ

4～5講時 実習 アートとしてのランドスケープデザイン（手ぼうき造り）

●2日目

学外集合 9：30に明治神宮南参道入口の鳥居前集合

1～4講時 樹木実習／スケッチ作成（明治神宮および目黒・自然教育園）

5講時 自然教育園にてスケッチ仕上げ（現地解散）

受講にあたって

●持参物

1. 事前課題

2. airUマイページより本科目のシラバスを出力したもの

3. 補助資料「フィールドワークの手法」

（airUマイページ＞カリキュラム一覧（シラバス）＞「環境デザイン［ランドスケープデザイン］ I－1」または「デザイン基礎1（ランドスケープデザイン）」に掲載）

4. 「フィールドワーク用具」（2日目のみ持参／『コースガイド』p.26参照）

5. デジタルカメラやカメラ携帯
6. スケッチブック（コース指定のものが望ましい／『コースガイド』p.28参照）
7. 軍手（1日目の手ぼうき造りでも使用）
8. ハンディタイプの樹木図鑑は可能な限り持参。
9. 剪定ばさみ、または和バサミ（京都は2日間とも、東京は1日目のみ持参／『コースガイド』p.25「名園実習用具」参照）

●コース貸出・支給

1. デザインシート（成果物作成用／A4×2枚）
2. 手ぼうき材料一式（材料費については「諸経費」参照）

●諸経費

後日、以下の教材費等を指定口座から引き落とします。

- ・手ぼうき材料費として2,000～2,500円程度をご負担いただきます。
- ・入園料（東京のみ）

※金額は変更になる場合があります。

●その他

【テキスト科目との関連】

「デザイン基礎2（ランドスケープデザイン）樹木ファイル制作」への足がかりとしてスクーリング中に2～3種の樹木に関してスケッチあるいは写真を撮影し、特性などをまとめます。

注意事項

- ・1日目は手ぼうき造りをおこないますので、作業しやすい服装で受講してください。
- ・2日目は両会場とも屋外スクーリングです。動きやすい服・歩きやすい靴を着用し、必要なものはデイパックなどにまとめ、それ以外の宿泊荷物等はあらかじめコインロッカーに預け、できる限り軽装備で受講してください。徒歩移動があるため、大きな荷物を持ったままの受講はできません。
- ・体調を整えて屋外スクーリングに臨んでください。体調に不安がある場合は無理せず担当教員まで申し出てください。
- ・【東京のみ】2日目朝は学外集合の予定です。スクーリング初日に教員より案内しますが、集合場所までの移動経路や所要時間、交通費はあらかじめ各自で確認し、集合時間に遅れないようにしてください。
- ・屋外スクーリングは基本的に雨天決行です（airUマイページの事前課題欄にあげている「屋外スクーリングにおける雨天時の対応について」参照）。事前に天気予報を確認し、雨具を適宜持参してください。
- ・研修地・実習地は変更することがあります。変更となった場合は、airU等で受講者の方にお知らせします。

S	環境デザイン [ランドスケープデザイン] I-2 日本庭園1 管理から日本庭園を学ぶ 科目コード： 73002
配当年次	1年次～
単位数	1
履修の前提条件	なし 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン [ランドスケープデザイン] I-2(日本庭園1管理から日本庭園を学ぶ)K 開催日程：2019年7月27日（土）～ 2019年7月28日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：40 環境デザイン [ランドスケープデザイン] I-2(日本庭園1管理から日本庭園を学ぶ)T 開催日程：2019年8月24日（土）～ 2019年8月25日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：40
担当者	尼崎博正、池内善一、加藤友規、平井幸輝、前田哲男（京都）尼崎博正、高崎康隆、平井孝幸（東京）高梨武彦

科目概要と到達目標

本科目では、移植、剪定、掃除などの実習を通して庭園管理の基礎、作庭・設計の時代背景、デザインの特徴、作庭・造園工法など日本庭園の空間デザイン手法の基本を学びます。これら基礎作業の実習を通して、常日頃の庭園管理があつてはじめて庭園の美しさが保たれていることを理解し、庭園技術や空間構成を知り、さらには作庭の意図を体感から学ぶことを目指します。

評価基準と成績評価方法

1. 基礎的な造園技術の理解
2. 積極的な実習の取り組み
3. 庭園実技の体得度

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『ランドスケープデザイン原論』第2部、『庭づくりの心と実践』第1章・2章・4章 『造園史』第1章・3章
参考文献・URL	田中正大『東京の公園と原地形』けやき出版、2005年（東京会場） （財）東京都公園協会発行『東京公園文庫』シリーズ（東京会場）

課題

造園材料店の現地実習を通じて造園樹木についての解説、庭園管理作業（移植剪定・掃除など）を行います。庭園研修と講義では、成立の歴史的背景や地形との関連性、五感のデザインの特徴についての解説を行います。

●成果物

研修地でスケッチをし、余白に庭園の空間構成と植栽デザイン、五感のデザインについて記したデザインシートとして作成する（A4×1枚）

授業計画

【京都会場】

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

学外集合 9：20にJR「太秦」駅の駐輪場前集合（集合時より実習服着用／実習時は地下足袋着用）

1～5講時 庭園実習（池内善兵衛園：造園材料店／現地解散予定）

●2日目

学外集合 9：20に「南禅寺」駐車場に集合（集合時より実習服・地下足袋を着用）

1～3講時 庭園実習、デザインシートにスケッチ作成（南禅寺）

4講時 講義 京（みやこ）のランドスケープ学概論（教室）

5講時 デザインシート制作（スケッチ仕上げ含む）（教室）

【東京会場】

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

学外集合 9：20に「新宿御苑」大木戸門前に集合

1～3講時 公園・近代庭園の成立および意匠について現地研修、デザインシートにスケッチ作成（新宿御苑）

4講時 講義 京（みやこ）のランドスケープ学概論（教室）

5講時 デザインシート制作（スケッチ仕上げ含む）（教室）

●2日目

学外集合 9：20にJR中央本線「武蔵境」駅北口集合（集合時より実習服着用／実習時は地下足袋着用）

1～5講時 庭園実習（石正園：造園材料店／現地解散予定）

受講にあたって

●持参物

1. 事前課題

2. A4クリップボード

3. 「フィールドワーク用具」（『コースガイド』p.26参照）コンバックス・三角スケール・スケッチブックは造園空間の把握、デザインを支援するために行う文献調査や現地調査（デザインサーベイ）の

必需品です。持参し、活用してください。

4.「名園実習用具」（京都会場は2日間とも持参、東京会場は2日目のみ持参／『コースガイド』p.25参照）

5.昼食（両会場2日間とも持参、東京会場1日目は新宿御苑内の売店・飲食店利用でも可）

●コース貸出・支給

1.デザインシート（成果物作成用／A4×1枚）

●諸経費

後日、以下の教材費等を指定口座から引き落とします。

・入園料（東京のみ）

注意事項

●庭園実習時の注意事項

・airUマイページにあげている「庭園実習時の注意事項」に目を通しておいってください。また、庭園実習では、スクーリング当日の天候および庭園の状況により教員が作業内容を決定します。どんな作業内容でも対応できるよう、『コースガイド』p.25「名園実習用具」は不足のないよう全て持ってきてください。

・庭園実習では実習服・地下足袋の着用が必要です（着用のタイミングは「授業計画」欄参照）。実習服のうち上着（長袖シャツ）は本学指定のものを着用していただきますので、新規購入する方は受講日の1ヶ月前までに取扱店へ直接申し込んでください。申し込み方法やサイズ等については直接販売店まで問い合わせてください（購入方法は『コースガイド』p.25「名園実習用具」およびpp.27-28「15.教材の購入方法」参照）。

・実習で訪れる庭園は一般非公開の場所もあります。写真撮影やスケッチは許可を得たうえで、写真は個人の観賞用として使用し、インターネット上での写真やスケッチの公開など、個人の鑑賞以外で使わないでください（本学テキスト課題への使用は可）。

・【京都のみ】初日の実習先は荷物置き場、終了後の着替え場所があります。2日目は実習場所に手荷物を預けることは可能ですが、実習後の着替え場所はありません。

●その他注意事項

・両会場2日間とも現地集合です。事前にairUで案内しますが、集合場所までの移動経路や所要時間、交通費はあらかじめ各自で確認をし、集合時間に遅れないようにしてください。

・屋外スクーリングは基本的に雨天決行です。airUマイページにあげている「屋外スクーリング時の注意事項」をご確認ください。事前に天気予報を確認し、雨具を適宜持参してください。

・動きやすい服・歩きやすい靴を着用し、必要なものはデイパックなどにまとめ、それ以外の宿泊荷物等はあらかじめコインロッカーに預けられる限り軽装備で受講してください。徒歩移動があるため、大きな荷物を持ったままの受講はできません。

・屋外授業スクーリングには体調を整えて臨んでください。体調に不安がある場合は無理せず担当教員まで申し出てください。

・当日の気候や各自の体調に応じて暑さ対策を行ってください。特に水分補給や紫外線対策には気をつけてください。

・【東京のみ】スクーリング最終日に屋外でそのまま解散となりますが、解散時刻は当日の天候や交通状況により変更する場合があります。帰路の交通手配については時間に余裕をもって手配してください。

・研修地・実習地は変更することがあります。変更となった場合は、airU等で受講者の方にお知らせします。

S	環境デザイン [ランドスケープデザイン] I-3 風景デザインへの視点 科目コード： 73003
配当年次	1年次～
単位数	1
履修の前提条件	なし 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン [ランドスケープデザイン] I-3(風景デザインへの視点)K 開催日程：2019年7月6日（土）～ 2019年7月7日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：40 環境デザイン [ランドスケープデザイン] I-3(風景デザインへの視点)T 開催日程：2019年7月20日（土）～ 2019年7月21日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：40
担当者	高梨武彦*、上岡典子、赤松弘治ほか（京都）湊泰樹、和泉真理、齋藤豊子、木村直紀ほか（東京）

科目概要と到達目標

ランドスケープは人と自然の相互作用により創り上げられ、農の風景美は人々の営為の時間的積み重ねによって熟成されます。本科目では、里と農の風景に対する現況評価と保全の意味について考察し、里と農のランドスケープの構成要素と成立要因、風景としての農地、緑地としての農地の重要性について習得することを目標とします。

評価基準と成績評価方法

1. 里と農の現状理解
2. 積極的な実習への取り組み
3. 基礎的な平面図・断面図の理解

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『ランドスケープデザインと環境保全』第3章
参考文献・URL	青木辰司ほか『持続可能なグリーンツーリズムー英国に学ぶ実践的農村再生ー』丸善出版、2006年 進士五十八ほか編『ルーラルランドスケープデザインの手法ー農に学ぶ都市環境づ

参考文献・URL	くりー』学芸出版、1994年 宇根豊『風景は百姓仕事がつくる』築地書館、2010年 宗田好史『なぜイタリアの村は美しく元気なのか』学芸出版社、2012年 農林水産省ホームページ http://www.maff.go.jp/
----------	--

課題

都市近郊に立地する農地を訪ね、農の風景の現状を分析・評価し、里地（農地）と里山の一体的保全のあり方についての問題点の抽出と考察を通して、里と農のランドスケープのより良い保全策についての提案に取り組みます。

●成果物

研修地で作成したスケッチや現況概略断面図、里と農の風景の特徴、提案についてまとめた構想シート（A3×1枚）

授業計画

【京都会場】

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

学外集合 9：45に阪急「嵐山」駅改札口に集合

1～5講時 歴史的風土保全地区における風景保全の歴史や現状を学び、その改善案（構想シート）考察（嵐山・嵯峨野／現地解散予定）

●2日目

1～2講時 講義 里と農の多面的機能概論（教室）

3講時 講義 里の現状（教室）

4～5講時 嵐山・嵯峨野で考察した構想シート仕上げ・プレゼンテーション（教室）

【東京会場】

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

学外集合 9：45に京王線「聖蹟桜ヶ丘」駅バスターミナルに集合、路線バスで移動

1～5講時 都市近郊農業の特質や風景保全について学び、その改善案（構想シート）考察（石坂ファームハウス／現地解散予定）

●2日目

1～2講時 講義 里と農の多面的機能概論（教室）

3講時 講義 里と農の再生概論（教室）

4～5講時 「石坂ファームハウス」での構想シート仕上げ・プレゼンテーション（教室）

受講にあたって

●持参物

1. 事前課題

2. 「フィールドワーク用具」（『コースガイド』p.26参照）/ 1日目のみ

3. 不意の雨や紫外線対策など、天候や各自の体調に合わせて雨具や水筒等必要なものを持参すること。
4. デジタルカメラとスケッチブック（コース指定のものが望ましい。『コースガイド』p.28参照）は持参必須。
5. 色鉛筆（コース指定のものが望ましい。『コースガイド』p.24参照）/2日目のみ
6. ノートPC（周辺機器一式）/2日目のみ
7. LANアカウント/2日目のみ
8. 延長コード（3メートル程度）/2日目のみ
9. 昼食（東京のみ/1日目）

●コース貸出・支給

1. コピー用紙（成果物作成用/A3×1枚）

●諸経費

・入園料が別途必要になる場合があります。入園料が発生した場合は後日、指定口座より引き落としとなります

●その他

【テキスト科目との関連】

・本科目で学んだことを参考に「環境デザイン演習[ランドスケープデザイン]I-2ランドスケープデザイン表現基礎」および「デザイン基礎2（ランドスケープデザイン）樹木ファイル制作」の課題に取り組むと効率的です。

注意事項

- ・現地研修があります。事前にairUで案内しますが、集合場所までの移動経路や所要時間、交通費はあらかじめ各自で確認をし、集合時間に遅れないようにしてください。
- ・屋外スクーリングは基本的に雨天決行です。airUマイページの事前課題欄にあげている「屋外スクーリング時の注意事項」をご確認ください。事前に天気予報を確認し、雨具を適宜持参してください。
- ・動きやすい服・歩きやすい靴を着用し、必要なものはデイパックなどにまとめ、それ以外の宿泊荷物等はあらかじめコインロッカーに預け、できる限り軽装備で受講してください。徒歩移動があるため、大きな荷物を持ったままの受講はできません。
- ・屋外スクーリングには体調を整えて臨んでください。体調に不安がある場合は無理せず担当教員まで申し出てください。
- ・当日の気候や各自の体調に応じて暑さ対策を行ってください。特に水分補給（水筒・ペットボトルを持ってくると良い）や紫外線対策には気をつけてください。
- ・屋外でそのまま解散となりますが、解散時刻は当日の天候や交通状況により変更する場合があります。特に最終日の帰路の交通手配については時間に余裕を持っておいてください。
- ・研修地・実習地は変更することがあります。変更となった場合は、airU等で受講者の方にお知らせします。

S	環境デザイン [ランドスケープデザイン] II-1 設計1 製図基礎 科目コード： 73004
配当年次	1年次～
単位数	1
履修の前提条件	なし 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること ※入学1年目に受講することが望ましい。
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン [ランドスケープデザイン] II-1(設計1製図基礎)K 開催日程：2019年6月8日（土）～ 2019年6月9日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：30 環境デザイン [ランドスケープデザイン] II-1(設計1製図基礎)T 開催日程：2019年6月29日（土）～ 2019年6月30日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：35
担当者	井上智治、津田主税（京都）古賀健一、湊泰樹（東京）高梨武彦*

科目概要と到達目標

身体測などによる実測を通じて、現況平面図や断面図を作成し、ランドスケープデザインが対象とする空間の把握能力を得るとともに、ヒューマンスケール感覚から空間のサイズの理解を深め、図面制作の手法を学びます。これらをとおして、身体感覚と設計図のスケール感を一致させることを目標とします。

評価基準と成績評価方法

1. スケール感の理解
2. 基礎的な平面図・断面図の理解
3. 積極的な取り組み

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『デザイン基礎 [ランドスケープデザイン]』第2章
参考文献・URL	なし

課題

設計基礎としてヒューマンスケールの理解と平面図および断面図など、基本的な設計図面の制作に取り組みます。まず、自身の身体を計測することにより、空間を利用する人間の基本的な大きさを認識し人間の尺度について学びます。ついで、縮尺（スケール）を持った図面を理解するために身体を用いて広場など身近な空間の計測を行い、それを平面図にまとめます。つまり、身体による測量（=身体測）による平面図の制作に取り組みます。さらに、これらの成果に基づき実際の戸外空間を訪れ、対象空間の魅力を感じつつその空間構成を計測し、断面図の制作に取り組みます。これらのプロセスを通じて設計における基本的な表現を学び平面図や断面図作成に活かします。

●成果物

デザイン実習で作成する平面図・断面図（A3×1～2枚）

授業計画

【京都・東京会場】

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1講時 事前課題の身体尺の確認および歩測などの確認

2～3講時 身体測による平面図作成

4講時 平面図仕上げ

5講時 講評

●2日目

1～2講時 身体測も用い断面図作図し、空間の魅力を発見する（京都：琵琶湖疏水、東京：外苑キャンパス近くの元町公園）

3～4講時 断面図仕上げ

5講時 講評

受講にあたって

●持参物

1. 事前課題

2. 「製図用具」一式（『コースガイド』p.24「製図用具」参照）

※トレーシングペーパーは十分な量（ロール約1本）を持参すること。

3. シャープペンシル（0.5mmおよび0.7mm）※芯はH・HB・Fを持参すること。

4. スケッチブック（コース指定のもの／『コースガイド』p.28「15.教材の購入方法」参照）

5. ハンディタイプの樹木図鑑（『コースガイド』p.26「フィールドワーク用具」参照）

6. コンバックス（メジャー／『コースガイド』p.26「フィールドワーク用具」参照）

7. クリップボード（A3もしくはA4サイズ／現地調査で使用）

8. 動きやすい服・歩きやすい靴・雨具

※2日間とも屋外で実測を行います。不意の雨や紫外線対策など各自の状況に合わせて持参してください。

●コース貸出・支給

1. 製図版・T定規

2. カッティングマット

3. ステンレス定規（60cm）

4. 下げ振り（断面図作成時に高さを計測するために使用）
5. A4モノクロ複合機
6. プロジェクトペーパー（方眼紙／A3×2枚）

●その他

【テキスト科目との関連】

・受講までに「デザイン基礎1（ランドスケープデザイン）設計製図基礎」に取り組み、製図の基礎を学んでおく効果的です。

注意事項

- ・屋外で簡単な調査を行います。体力に自信がない方はスクーリング初日に担当教員に申し出てください。
- ・京都会場 1日目は瓜生山キャンパス内です。2日目は琵琶湖疏水（大学より徒歩10分）を実測フィールドとする予定です。
- ・東京会場 1日目は東京外苑キャンパス内です。2日目は外苑キャンパス近辺の元町公園を実測フィールドとする予定です。

S	環境デザイン [ランドスケープデザイン] II-2 設計2 ガーデンデザイン基礎 科目コード： 73005
配当年次	1年次～
単位数	1
履修の前提条件	なし 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン [ランドスケープデザイン] II-2(設計2ガーデンデザイン基礎)K 開催日程：2019年8月17日（土）～ 2019年8月18日（日） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：30 環境デザイン [ランドスケープデザイン] II-2(設計2ガーデンデザイン基礎)T 開催日程：2019年8月10日（土）～ 2019年8月11日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：35
担当者	浜本規子、田畑了（京都）水沼むつみ、佐藤勇武（東京）高梨武彦*

科目概要と到達目標

個人住宅および住宅空間全体の設計に取り組み、建築図面に対する基礎的理解と住空間の設計について学ぶ。

中規模な個人居住空間全体の設計に取り組む。建築およびガーデンデザインのトータルデザインをテーマとして、平面図・立体図・断面図を中心とした基本的な住宅建築およびランドスケープデザイン手法を学ぶことを目的とする。クライアントの要望を現実化するとともに、住宅建築とランドスケープ空間を一体的・総合的に設計する。

評価基準と成績評価方法

1. 住宅地におけるランドスケープの役割りの理解
2. 住宅建築の理解力
3. ランドスケープのデザイン力
4. コンセプトの立案力とコンセプトシートのまとめ方

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『庭づくりの心と実践』
参考文献・URL	植物図鑑についてはテキスト科目「デザイン基礎2（ランドスケープデザイン）樹

課題

個人住宅空間全体の設計課題。300㎡程度の敷地規模の課題に対し、与えられた建築条件、敷地周辺条件と設計与件に沿って、デザインコンセプト、動線・ゾーニングなどのダイアグラム作成、平面図・立体図・断面図などの設計図書の作成などを通して住宅空間全体に対する設計に取り組みます。住宅建築とランドスケープ空間の一体的な設計を意識する。また、街路に面したファサード（前面）のデザインも景観形成に大きく関与するため、ランドスケープ・アーキテクチャーの視点から重視する。

- 個人住居空間における住宅建築とランドスケープデザインの留意事項
- プライベート空間のデザイン技法とデザインプロセスに関する留意事項
- 敷地特性と設計与件の理解・評価・分析
- 設計コンセプトの立案
- ゾーニング・動線など、建築およびランドスケープのプランニング
- スタディのための図面の作成から平面図・立断図面の作成・仕上げ。
- プレゼンテーション

●成果物

プレゼンテーションシート（A3×2枚）

授業計画

【京都・東京会場】

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1講時 事前課題の確認

2～3講時 コンセプトワーク・ゾーニング・動線などサイトプランニング

4～5講時 平面図作成（ランドスケーププランニング）

●2日目

1～2講時 断面図・立面図の作成

3～4講時 イメージスケッチ・プレゼンテーションシート作成

5講時 講評

受講にあたって

●持参物

1. 事前課題

2. 「製図用具」一式（『コースガイド』p.24「製図用具」参照）

※トレーシングペーパーは十分な量（ロール約1本）を持参すること。

3. メモ帳もしくはスケッチブック（コース指定外でも可）

4. 各自必要と思われる参考図書、庭の写真の本や雑誌など（適宜）

●コース貸出・支給

1. 製図版・T定規

2. カッティングマット

3. ステンレス定規（60cm）

S	環境デザイン [ランドスケープデザイン] II-3 模型基礎 科目コード： 73006
配当年次	1年次～
単位数	1
履修の前提条件	なし 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること ※ 「デザイン基礎1（ランドスケープデザイン）」を提出済み（合否不問）であることが望ましい。
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン [ランドスケープデザイン] II-3(模型基礎)K 開催日程：2019年9月7日（土）～ 2019年9月8日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：30 環境デザイン [ランドスケープデザイン] II-3(模型基礎)T 開催日程：2019年9月21日（土）～ 2019年9月22日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：30
担当者	井上智治*、首藤直哉（京都）高橋正雄、河野潤（東京）

科目概要と到達目標

ランドスケープデザインにおける地形デザインを理解するために、基本的な地形デザインやアースワークの原理を学び、それを活かして実空間のアースワークに取り組みます。コンター（等高線）や地形モデルの理解を通じて、デザイナーに求められる空間感覚のスキルアップを目指します。

評価基準と成績評価方法

1. コンターの理解
2. 地形デザインの理解
3. スケール感の理解

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『デザイン基礎 [ランドスケープデザイン] 』第2章・3章・5章
参考文献・URL	『ラクラク建築模型マニュアル』エクスナレッジ刊、2014年

課題

『コンターとアースワーク』

アースワークの技法とコンター（等高線）の原理について学びます。

積層模型と樹木や芝の模型のつくり方を習得し、与えられた設計テーマにもとづいた人の活動領域としての地形デザインに取り組みます。また、平面図・断面図をもとに地形と樹木を模型で表現し模型作品として完成させます。

- ・コンターの理解
- ・地形および樹木の模型デザインの理解
- ・図面（平面図・断面図）をもとにした人のアクティビティ（動線）の理解
- ・スケール感の理解

●成果物

アースワーク地形模型（S=1/100）

授業計画

【京都・東京会場】

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1～2講時 アースワーク基本事項説明

3～5講時 アースワーク平面図作成（「AUTOCAD」使用）

●2日目

1～4講時 アースワーク模型制作（樹木模型の造り方・芝の表現も含む）、模型撮影

5講時 講評

受講にあたって

●持参物

1. 事前課題

2. テキスト『デザイン基礎 [ランドスケープデザイン] 』

3. ノートパソコン（『コースガイド』p.22「13. パソコンとソフトウェア」参照）

※『コースガイド』参照ページを確認のうえ「AUTOCAD」をインストールし、動作確認済みの状態で受講してください。

4. マウス（ホイールボタンがついているもの）

5. 電源用延長コード（ノートパソコン用）

6. 学内LANアカウント（『学習ガイド』pp.91～93参照）

※学内で無線LANに接続してインターネットを使用する場合に必要。忘れた場合はインターネットへ接続ができません。

7. USBメモリ

8. 「模型用具」一式（『コースガイド』p.24「模型用具」参照）

9. スチレンボード（紙貼り／5mm厚／A4判×1枚）、スチレンペーパー（紙無し／2mm厚／A4判×5枚）

・京都会場：ADストア（大学の購買部）の在庫には限りがあります。事前購入のうえ持参することをおすすめします。

・東京会場：「東美」で当日購入を希望する場合、『コースガイド』p.27を確認し、事前に申し込んでおいてください。

10. 模型（10cm×10cm×5cm位を3個）を持ち帰るためのビニール袋（A3くらいの大きさ）

●コース貸出・支給

1. 製図板・T定規
2. カッティングマット
3. ステンレス定規（60cm）
4. プライザー（人物模型2～3体）
5. 電線コード（25cm/人）
6. A4モノクロ複合機

注意事項

●持参するノート型パソコンについて

ノートパソコンの持参が必要な科目ですが、2016年度以前の入学の方はパソコン必須ではなかったため、パソコンをお持ちでない学生でこの科目を受講される際は手作業でおこないます。

2017年度以降入学の方は用意したノート型パソコンにコースで使用するソフトウェア（AUTOCAD）をインストールし起動することを確認した上で持参するようにしてください。

●パソコンでの表現力を向上させるために

スクーリングの受講はソフトウェア導入のきっかけでもあり、この授業だけで全ての機能を習得できるわけではありません。ソフトウェアを使いこなすためには常日頃から使用し続けることが一番の近道です。

S	環境デザイン [ランドスケープデザイン] III-1 プレゼンテーション基礎 科目コード： 73007
配当年次	2年次～
単位数	1
履修の前提条件	なし 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること ※ 1年次スクーリング科目「環境デザイン [ランドスケープデザイン] I-1～3、II-1～3」を受講済みであることが望ましい。
開講日程・開講地・定員	環境デザイン [ランドスケープデザイン] III-1(プレゼンテーション基礎)K 開催日程：2020年1月11日（土）～ 2020年1月12日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：30 環境デザイン [ランドスケープデザイン] III-1(プレゼンテーション基礎)T 開催日程：2020年1月18日（土）～ 2020年1月19日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：30
担当者	井上智治、河原司（京都）阿部勉、木村直紀（東京）高梨武彦*

科目概要と到達目標

ランドスケープ・アーキテクトに求められるスキルの一つに、情報の収集能力そして収集された情報・資料をわかりやすく編集・整理し施主に伝えることがある。一般的に、作品に対する評価は「内容」×「伝達効率（プレゼンテーション能力）」で決まると言われている。

与えられたテーマに関する情報の収集から編集までの技術を習得し、プレゼンテーションシートの制作に取り組むこと、そして口頭発表表現によるプレゼンテーション手法の基本と実際を実践し習得することを目的とする。

評価基準と成績評価方法

- ・適正な収集資料
- ・レイアウトの構成力、美しさ
- ・各要素（イメージ・テキストなど）のわかりやすさ
- ・総合的なまとまりと表現力

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
------	----

課題

事前課題で対象とした場所について、資料を収集・整理し、各自プレゼンテーションの対象・目的を設定し、それらをもとにプレゼンテーションの基本方針を作る。基本方針に基づいて、明快な論理展開と視覚的テクニックによる効果的な情報伝達について学び、プレゼンテーション作成においてはAdobe Illustratorを使用した制作手法について学ぶ。さらに、制作したプレゼンテーションシートを発表します。

- ・ 事前に与えられたテーマに対する調査・コンセプト立案
- ・ プレゼンテーション技法の理解（Adobe Illustratorの基本的操作の理解）
- ・ プレゼンテーションシートの制作
- ・ 口頭発表

●成果物

プレゼンテーションシート（A3×2枚）

授業計画

【京都・東京会場】

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1～2講時 事前課題から情報共有、レイアウト基礎講義、テーマ設定

3～5講時 ラフレイアウト作成、原稿とコンテンツ作成（Adobe Illustrator使用）

●2日目

1～3講時 編集作業（Adobe Illustrator使用）

4講時 プレゼンテーションシートの制作・出力（Adobe Illustrator使用）

5講時 プレゼンテーション講評

受講にあたって

●持参物

1. 事前課題

2. ノートパソコン（『コースガイド』p.22「13. パソコンとソフトウェア」参照）

※『コースガイド』の参照ページを確認のうえ「Adobe Illustrator」を開講前に購入・インストールし、動作確認済みの状態で受講してください。

3. マウス（ホイールボタンがついているもの）

4. 電源用延長コード（ノートパソコン用）

5. 学内LAN利用アカウント（『学習ガイド』pp.91～93参照）

※学内で無線LANに接続してインターネットを使用する場合に必要。忘れた場合はインターネットへ接続ができません。

6. USBメモリ

7. 「製図用具」（『コースガイド』p.24「製図用具」参照）

※PCでの作業以外時に使用します。

8. デジタルカメラは持参必須（スマートフォン・携帯電話のカメラ可）。

※事前に使い方を十分に理解し、充電をしておくこと。

9. 鉛筆（H・HB）、シャープペンシル、芯ホルダーのいずれかを持参。
10. 円定規、コンパス、トレーシングペーパーは使用しないので持参不要。
- 11.. メンディングテープ

●コース貸出・支給

1. カッティングマット
2. ステンレス定規（60cm）
3. スプレーのり
4. 付箋（5色セット）

注意事項

●持参するノート型パソコンについて

ノートパソコンの持参が必要な科目ですが、2016年度以前の入学の方はパソコン必須ではなかったため、パソコンをお持ちでない学生でこの科目を受講される際は手作業でおこないます。

2017年度以降入学の方は用意したノート型パソコンにコースで使用するソフトウェア（Adobe Illustrator）を本スクーリングの開講前にインストールし、起動することを確認したうえで持参するようにしてください。

●パソコンでの表現力を向上させるために

スクーリングの受講はソフトウェア導入のきっかけでもあり、この授業だけで全ての機能を習得できるわけではありません。ソフトウェアを使いこなすためには常日頃から使用し続けることが一番の近道です。

S	環境デザイン [ランドスケープデザイン] III-2 美しい大地の創出 科目コード： 73008
配当年次	2年次～
単位数	1
履修の前提条件	なし 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること
開講日程・開講地・定員	環境デザイン [ランドスケープデザイン] III-2(美しい大地の創出)K 開催日程：2019年12月14日（土）～ 2019年12月15日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：30 環境デザイン [ランドスケープデザイン] III-2(美しい大地の創出)T 開催日程：2019年12月21日（土）～ 2019年12月22日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：40
担当者	首藤直哉、井上智治、富永斉史（京都）神野郁也、河野潤（東京）高梨武彦*

科目概要と到達目標

このスクーリングでは、等高線、地形、樹木など、ランドスケープデザインに求められている模型技術の基礎力を高めながら、階段、擁壁、簡単な建築物などのアースワークとランドアートにおける創造的な模型表現を追及する。またグループセッションにて、制作中の模型を通して空間を発見、創造するプロセスを確認しあう。

評価基準と成績評価方法

1. 立体的空間デザイン力
2. 模型表現力
3. 総合的創造力

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『デザイン基礎』[ランドスケープデザイン]』第3章（pp.88～123）、第5章
参考文献・URL	なし

課題

積層模型制作および模型を彩る各種素材表現、樹木の造り方など習得しながら、各々の配置（美しい植栽配置など）をデザインします。

●成果物

計画平面図（A3×1枚）、模型（A3）

授業計画

【京都・東京会場】

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1～2講時 模型紹介／事前課題の設計案の決定（コンセプト・平面図の検討）

3講時 樹木模型の造り方、配置、着色仕上げ

4～5講時 地形平面図・断面図作成／模型制作

●2日目

1～3講時 水貼り・模型仕上げ（素材の検討）

4講時 模型撮影、模型箱制作

5講時 講評

受講にあたって

●持参物

1. 事前課題

2. テキスト『デザイン基礎 [ランドスケープデザイン] 』

3. 「製図用具」一式（『コースガイド』p.24「製図用具」参照）

4. 「模型用具」一式（『コースガイド』p.24「模型用具」参照）

5. スチレンボード（紙貼り5mm厚／A3判×1枚）、スチレンペーパー（紙無し／1mm厚／A3判×20枚）

※京都会場：ADストア（大学の購買部）の在庫には限りがあります。事前購入のうえ持参することをおすすめします。

※東京会場：「東美」で当日購入を希望する場合は、『コースガイド』p.27、または「東美」のHPを確認し、事前に申し込んでおいてください。

●コース貸出・支給

1. 製図板・T定規

2. カッティングマット

3. ステンレス定規（60cm）

4. ヒートカッター

5. ガンタッカー

6. 水貼り用の刷毛

7. 水貼りテープ（黒）

8. プライザー（人物模型）

9. NTラシャ紙（黒／B3）

10. 模型台用木製パネル（A3）

11. ダンボールシート（模型箱用／A2サイズ×3枚／5mm）

12. 電線コード（樹木模型用、2m×2本）

13. 樹木模型用スポンジ2色

●諸経費

後日、以下の教材費等を指定口座から引き落とします。

・水貼りテープ、NTラシヤ紙、模型台用木製パネル、ダンボールシート、電線コード代として1,600円程度（2018年度実績）

※金額は変更になる場合があります。

S	環境デザイン [ランドスケープデザイン] III-3 日本庭園2 作庭から日本庭園を学ぶ 科目コード: 73009
配当年次	2年次～
単位数	1
履修の前提条件	なし 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン [ランドスケープデザイン] III-3(日本庭園2作庭から日本庭園を学ぶ)K 開催日程: 2019年10月27日(日)～2019年10月28日(月) 開催地: 京都、受講料: ￥13,000、定員: 30 環境デザイン [ランドスケープデザイン] III-3(日本庭園2作庭から日本庭園を学ぶ)T 開催日程: 2019年10月19日(土)～2019年10月20日(日) 開催地: 東京■、受講料: ￥16,000、定員: 30
担当者	尼崎博正、矢ヶ崎善太郎、野間秀行ほか(京都) 尼崎博正、小沼康子、松中徹、ほか(東京) 高梨武彦*

科目概要と到達目標

七代目小川治兵衛など、近代を代表する作庭家による庭園を題材に、クライアントとの関係も含めた作家研究にはじまり、作庭意図・空間構成、植栽や石材などの素材論、水音に代表される五感のデザインなどを総合した庭園の芸術性について学びます。本科目においては、庭園における剪定や掃除・除草などの造園実習を通して、実践的かつ身体的な作家論・作庭デザインに関する認識を深めることを目指します。

評価基準と成績評価方法

1. 近代庭園空間の特性の理解
2. 積極的な実習への取り組み
3. 造園実技の体得度

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『小川治兵衛の事績』
参考文献・URL	尼崎博正編著『植治の庭 小川治兵衛の世界』淡交社、1991年 尼崎博正『石と水の意匠 植治の造園技法』淡交社、1992年

参考文献・URL	田中正大『東京の公園と原地形』けやき出版、2005年 『東京公園文庫・殿ヶ谷戸庭園』（財）東京都公園協会発行 尼崎博正『七代目小川治兵衛―山紫水明の都にかへさねば』ミネルヴァ書房、2012年 鈴木博之『庭師 小川治兵衛とその時代』東京大学出版会、2013年
----------	---

課題

近代の政治家や起業家などが手がけた庭園の成立について、その作庭を担当した植治らの活動についての講義をベースに、実空間で剪定、掃除など庭園管理技法に関する庭園実習に取り組み、庭園の空間構成や作庭技法、さらには庭園デザインについて学びます。庭園実習を通じて空間構成や近代庭園の特徴・庭園管理手法（剪定、掃除、除草など）を学びます。

●成果物

現地にて近代庭園の説明を受けて作成したスケッチや断面図などをまとめたデザインシート（A4×1枚）

授業計画

【京都会場】

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1～2講時 講義 植治と数寄空間（教室）

学外集合 13：45に「平安神宮」前集合

3～4講時 庭園解説、デザインシートにスケッチ・断面図作成（平安神宮）

5講時 講義 植治の庭（教室）

●2日目

学外集合 9：20に京都市国際交流会館前集合（集合時より実習服・地下足袋着用）

1～5講時 庭園実習（無隣庵／現地解散予定）

【東京会場】

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

学外集合 9：30に「殿ヶ谷戸庭園」入口集合

1～3講時 庭園解説、デザインシートにスケッチ・断面図作成（殿ヶ谷戸庭園）

4講時 講義 近代東京の庭園Ⅰ（教室）

5講時 講義 近代東京の庭園Ⅱ（教室）

●2日目

学外集合 9：45に「三溪園」正門前集合（集合時より実習服を着用／実習時は地下足袋着用）

1～5講時 庭園実習（三溪園／現地解散予定）

受講にあたって

●持参物

1. 事前課題

2. 「フィールドワーク用具」 (『コースガイド』 p. 26参照)

※コンベックス・三角スケールは造園空間の把握、デザインを支援するために行う文献調査や現地調査(デザインサーベイ)の必需品です。

3. 「名園実習用具」 (『コースガイド』 p. 25参照／2日目のみ持参)

4. 『小川治兵衛の事績』

5. 昼食 (京都会場・東京会場ともに2日目のみ持参／実習地より途中外出はできません)

6. A4クリップボード

●コース貸出・支給

1. デザインシート (A4×1枚)

●諸経費

後日、以下の教材等を指定口座から引き落とします。

・拝観料、入園料

注意事項

・airUマイページの事前課題欄にある「屋外スクーリング時の注意事項」および「庭園実習時の注意事項」に目を通しておいってください。

・庭園実習後は現地にて着替えが可能です。ただし、休憩所は狭いため実習に必要な荷物以外持ち込まないでください。

S	環境デザイン [ランドスケープデザイン] IV-1 設計3 すまいと庭のデザイン 科目コード： 73010
配当年次	2年次～
単位数	1
履修の前提条件	なし 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること ※ 「環境デザイン [ランドスケープデザイン] II-3」を受講済みであることが望ましい。
開講日程・開講地・定員	環境デザイン [ランドスケープデザイン] IV-1(設計3すまいと庭のデザイン)K 開催日程：2019年9月21日（土）～ 2019年9月22日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：30 環境デザイン [ランドスケープデザイン] IV-1(設計3すまいと庭のデザイン)T 開催日程：2019年9月7日（土）～ 2019年9月8日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：30
担当者	三好誠人、津田主税ほか（京都） 久保田正一、杉山薫ほか（東京） 高梨武彦*

科目概要と到達目標

中規模の個人住宅とその庭の設計演習を通じて、建築設計および庭園設計に関する知見を広げることが目標とします。スクーリングは、全体講義、各学生への直接指導、そして全員による自案の発表により構成されています。

初日冒頭、事前課題として用意してきた複数の草案を、指導教員との議論を経てブラッシュアップさせ、1案に絞り込みます。初日午後からは、その案を図面として表現することに取り組み、平面図兼配置図、立面図、庭園断面図を作成、翌日の午後からは図面に着色します。最後に各学生による自案発表に対し、指導教員が講評を行います。

評価基準と成績評価方法

1. 個人住宅および庭におけるプライバシー空間とセミパブリック空間の適正配置
2. 設定された住人（クライアント）の生活における居室と庭との関係の豊かさ
3. 図面およびプレゼンテーションの完成度

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習し、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	
参考文献・URL	植物図鑑についてはテキスト科目「デザイン基礎2（ランドスケープデザイン）樹

課題

公的空間（パブリック）と私的空間（プライベート）との分節あるいは融合といった空間計画手法や、ユニバーサルデザイン・インクルーシブデザインなど時代性を取り入れたデザイン思想や技法について講義で学ぶ。次いで、指導教員との議論を取り入れて個人住宅およびその庭園の設計をおこなう。

- 公的空間と私的空間のしつらえ
- ユニバーサルデザインとインクルーシブデザイン
- 個人住宅とその庭園の設計とプレゼンテーション

●成果物

計画案一式（平面図兼配置図A3・1枚/立体図・断面図A3・1枚/着彩仕上げ）

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1～2講時 指導教員による事前課題添削、および草案の絞込みとブラッシュアップ

3～5講時 平面図作成

●2日目

1～2講時 建物の立面図作成、庭園の断面図作成

3～4講時 各図面をレイアウトし、プレゼンテーションシート作成

5講時 全体講評

受講にあたって

●持参物

1. 事前課題

2. 「製図用具」一式（『コースガイド』p.24「製図用具」参照）

※トレーシングペーパーは十分な量（ロール約1本）を持参すること。

3. 図面用筒もしくはケース（A3サイズの図面が入るもの、作品を折らずに持ち帰るため）

4. 書籍・植物図鑑など個人住宅やランドスケープデザインに関する資料など（各自が必要に応じて持参）

●コース貸出・支給

1. 製図板・T定規

2. カッティングマット

3. NTラシャ紙（100kg/A3×2枚）

S	環境デザイン [ランドスケープデザイン] IV-2 里地・里山の構造と風景デザイン 科目コード： 73011
配当年次	2年次～
単位数	1
履修の前提条件	なし 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること
開講日程・開講地・定員	環境デザイン [ランドスケープデザイン] IV-2(里地・里山の構造と風景デザイン)K 開催日程：2019年10月5日（土）～ 2019年10月6日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：30 環境デザイン [ランドスケープデザイン] IV-2(里地・里山の構造と風景デザイン)T 開催日程：2019年11月16日（土）～ 2019年11月17日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：30
担当者	鈴木康久、上岡典子、高柳敦（京都）羽山伸一、中村良三、後藤雅浩（東京）高梨武彦*

科目概要と到達目標

里と農のランドスケープ（風景）保全・創造について考察します。さらに近年は野生動物の農地への侵入による諸被害も大きな問題となっており、その対策も学びます。本科目では、里と農のランドスケープ保全を都市との関係もふまえ、より具体的・実践的に里と農の風景再生策を習得することを目標とします。

評価基準と成績評価方法

1. 農とランドスケープの関連性の理解
2. 美しい構想シート
3. 積極的な実習への取り組み

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返り、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『ランドスケープデザインと環境保全』第3章
参考文献・URL	羽山伸一『野生動物問題』地人書館、2001年 寺西俊一・石田信隆 編著『農林水産業を見つめなおす』中央経済社、2010年 前迫ゆり・高槻成紀 編『シカの脅威と森の未来』文一総合出版2015年 梶光一・小池伸介編『野生動物の管理システム』講談社サイエンティフィック、

参考文献・URL	2015年 藻谷浩介・NHK広島取材班『里山資本主義』角川書店、2013年 大森彌・小田切徳美・藤山浩編著『田園回帰8 世界の田園回帰』農山漁村文化協会、2017年
----------	--

課題

講義と現地研修を通じて、里山の現況特性を把握し、図面やスケッチを交えた改善提案に取り組みます。野生動物の第一次産業への被害実態およびその対策、茅葺き民家の維持管理の現状、農で起業した方々の実際と集落の維持保全上で果たしている位置づけ（役割り）、6次産業化（※）を含む農のしくみ等について学びます。

（※）第1次産業＋第2次産業＋第3次産業を総合化したもの

●成果物

研修先で作成したスケッチや里と農の風景の特徴、風景保全の実態や提案についてまとめた風景構想シート（A3×1～2枚）

授業計画

【京都会場】

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

学外集合 8：30にJR「京都」駅八条口よりすぐの京都アバンティ1F入口前に集合、南丹市美山町まで貸切バスで移動

1～5講時 現地研修、図面・スケッチを含む風景改善素案作成（南丹市美山町）

18：30頃 JR「京都」駅八条口到着後、解散予定

●2日目

1～2講時 講義 野生動物の生態と保護管理（教室）

3～4講時 風景構想シート作成（教室）

5講時 講評（教室）

【東京会場】

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

学外集合 9：50に東武伊勢崎線「羽生」駅1階東口に集合後、貸切バスで移動

1～5講時 現地研修、図面・スケッチを含む風景改善素案作成（雨読晴耕村舎：うどくせいこうそんしゃ）

17：40頃 東武伊勢崎線「羽生」駅にて解散予定

●2日目

1～2講時 講義 野生動物の生態と保護管理（教室）

3～4講時 風景構想シート作成（教室）

5講時 講評（教室）

受講にあたって

●持参物

1. 事前課題
2. 「フィールドワーク用具」(『コースガイド』p.26参照)
※屋外授業用に水筒・雨具等持参すること。
3. 箸(東京のみ1日目昼食時に使用、使い捨てではなく、再利用できるものを持参)
4. ノートPC(周辺機器一式)
5. LANアカウント
6. 延長コード(3メートル程度)
7. 色鉛筆(コース指定のものが望ましい『コースガイド』p.24参照)/2日目のみ
8. ハサミ/2日目のみ

●コース貸出・支給

1. デザインシート(成果物作成用/A3×2枚)
2. A4モノクロ複合機

●諸経費

後日、以下の教材費等を指定口座から引き落とします。

【京都】

- ・1日目の昼食代と貸切バス代を合わせて6,000円程度
- ・1日目の昼食は現地のレストランを利用します。

※東京受講より移動距離、バスの使用時間が長いと金額設定に差が生じています。

※金額は変更する場合があります。

【東京】

- ・1日目の昼食代と貸切バス代をあわせて5,000円程度

※金額は変更する場合があります。

注意事項

- ・airUマイページ事前課題欄にある「屋外スクーリング時の注意事項」に目を通しておいってください。
- ・食物アレルギーをお持ちの方は開講2週間前までに事務局へご連絡ください。

S	環境デザイン [ランドスケープデザイン] IV-3 設計4 町並み景観とポケットパーク 科目コード： 73012
配当年次	2年次～
単位数	1
履修の前提条件	なし 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること ※「環境デザイン [ランドスケープデザイン] II-3」を受講済みであることが望ましい。
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン [ランドスケープデザイン] IV-3(設計4町並み景観とポケットパーク)K 開催日程：2019年11月16日（土）～ 2019年11月17日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：30 環境デザイン [ランドスケープデザイン] IV-3(設計4町並み景観とポケットパーク)T 開催日程：2019年10月26日（土）～ 2019年10月27日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：30
担当者	西辻俊明、津田主税ほか（京都）石井博史、鈴木俊治ほか（東京）高梨武彦*

科目概要と到達目標

3000㎡程度の小規模な公共空間（街の広場やオープンスペース、街区公園など）を課題としてとりあげ、環境、町並み、建築、街路などの周辺空間を含む都市公共空間と私的空間（個人住宅など）の構成原理の相違点、制約と可能性について理解を深めます。また、エスキースドローイング、平面図、ゾーニング図、断面図、立面図および図面の着彩など、設計に不可欠な図面類についても習熟度を高めます。

本科目では、ランドスケープデザインにおける都市公共空間の計画設計に取り組み、パブリック空間のプログラム力とデザイン力を習得すること目的とします。

評価基準と成績評価方法

1. パブリック空間の特性理解
2. 思考プロセス
3. 提案の総合力
4. チャレンジ精神
5. 新しい発想

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『デザイン基礎 [ランドスケープデザイン] 』第4章 『ランドスケープ空間の諸相』第1部
参考文献・URL	都市デザイン研究体『日本の広場』彰国社、2009年

課題

ポケットパーク

ニューヨークのセントラルパーク、ブライアントパーク、ペイリーパーク。ワシントンDCのベトナムメモリアル、ルーズベルトメモリアル。これらの公園は、大きさから形に至るまでそれぞれ全く異なるものです。にもかかわらず、それぞれの公園は周囲の都市と共に呼吸し、人々に愛着を持たれ、都市に息吹を与えています。

今回課題として取り上げる敷地周辺には、ストリートパフォーマンス、フリーマーケットなど、日本の若者たちを中心とした新しい文化やライフスタイルが数多く見られます。しかしながら、敷地に既存の公園は、そのようなライフスタイルの変化に対応できるものとはなっていないのが現状です。敷地の条件を良く読みながらも自由な発想によってポケットパークを設計してください。本科目においては、特に空間感覚のスキルアップをはかるので、空間デザインにおける空間体験の骨格を意識するために、具体的な「モノ」にとらわれない自由な空間構成をとおして、人の行動や体験のシークエンスをデザインすることに意識を置いてください。

●成果物

計画平面図・断面図・立体図（A3×2枚／着彩を行います）

コンセプト・ゾーニングの考え方・植栽の考え方などをA4のコンセプトシート1枚にまとめる。

授業計画

【京都・東京会場】

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1講時 課題説明と事例紹介

2講時 コンセプト・エスキースの確認

3～5講時 動線図、ゾーニング図、平面図素案作成

●2日目

1～2講時 平面図修正・スタディ断面図作成、図面着彩の説明

3～5講時 図面一式の仕上げ

受講にあたって

●持参物

1. 事前課題

2. 「製図用具」一式（『コースガイド』p.24「製図用具」参照）

※トレーシングペーパーは十分な量（ロール約1本）を持参すること。

●コース貸出・支給

1. 製図板・T定規

2. カッティングマット
3. ステンレス定規 (60cm)
4. A4モノクロ複合機
5. NTラシャ紙 (100kg／A3×2枚)

S	環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-1 プレゼンテーション発展 科目コード： 73013
配当年次	3年次～
単位数	1
履修の前提条件	スクーリング申込みまでに「環境デザイン基礎1（ランドスケープデザイン）」「環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] II-1」を合格済みであること。 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-1(プレゼンテーション発展)K 開催日程：2019年6月15日（土）～ 2019年6月16日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：30 環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-1(プレゼンテーション発展)T 開催日程：2019年6月29日（土）～ 2019年6月30日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：30
担当者	石川新一、井上智治、森田哲朗ほか（京都）木村直紀、河野潤、福田正浩ほか（東京）高梨武彦*

科目概要と到達目標

計画・設計条件の把握・整理と、設計成果のプレゼンテーションには、環境についての重層的な理解が不可欠である。

環境を成立させている要素を重層(レイヤー)的に把握・整理する能力を身につけること、そして、計画・設計内容をレイヤー的に表現する能力を身につけることを目標とする。

評価基準と成績評価方法

- 1 授業への積極的な参加
- 2 環境把握の視点
- 3 ビジュアルイズ(可視)化の工夫
- 4 最終成果物の完成度

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『ランドスケープデザインと環境保全』3章 環境の保全・計画における基礎知識
------	---------------------------------------

テキスト	pp.66～109
参考文献・URL	

課題

インターネット上の地理情報や、フィールドワークで得た情報を組み合わせ、プランニングのための条件整理をビジュアル化する場面と、計画・設計成果の多面性を伝える場面を想定し、レイヤー的な概念操作・環境表現を実践を通して学ぶ。

●成果物

プレゼンテーションシート（保全計画シート／A3×3～4枚）

授業計画

【京都・東京会場】

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1講時 課題説明と環境構成要素・重ね合わせ手法（レイヤー）について講義

2講時 フィールド調査（大学周辺／グループワーク）

3～5講時 調査結果のまとめ（提案づくり・成果発表）

●2日目

1講時 GIS紹介

2講時 イラストレーターの表現手法紹介（講義と制作）

3～4講時 調査・提案のビジュアル化（イラストレーターを使用して制作）

5講時 講評

受講にあたって

●持参物

1. 事前課題

2. 「製図用具」一式（『コースガイド』p.24「製図用具」参照）

3. デジタルカメラは持参必須（スマートフォン、携帯電話のカメラ可）。

※事前に使い方を十分に理解し、充電をしておくこと。

4. スケッチブック（コース指定のもの／『コースガイド』p.28）

5. ハンディタイプの樹木図鑑（『コースガイド』p.26「フィールドワーク用具」参照）

6. コンベックス（巻尺／『コースガイド』p.26「フィールドワーク用具」参照）

7. クリップボード（A3もしくはA4サイズ／現地調査で使用）

8. 動きやすい服・歩きやすい靴・雨具

※1日目は屋外で調査を行います。不意の雨や紫外線対策など各自の状況に合わせて持参してください。

9. ノートパソコン（『コースガイド』p.22「13. パソコンとソフトウェア」参照）

※『コースガイド』の参照ページを確認のうえ「Adobe Illustrator」を開講前に購入・インストールし、動作確認済みの状態で受講してください。

10.. マウス（ホイールボタンがついているもの）

11.. 延長コード（3メートル程度）

12.. 学内LANアカウント（『学習ガイド』pp.91～93参照）

※学内で無線LANに接続してインターネットを使用する場合に必要。忘れた場合はインターネットへ接

続ができません。

13. USBメモリ

●コース貸出・支給

1. 製図版・T定規
2. カッティングマット
3. ステンレス定規（60cm）
4. 下げ振り（断面図作成時に高さを計測するために使用）
5. プロジェクトペーパー（方眼紙／A3×2枚）

●その他

●テキスト科目との関連

「環境デザイン演習[ランドスケープデザイン]Ⅲ-2(都市・地方の再生)」の取り組みにつなげてください。

注意事項

●持参するノート型パソコンについて

- ・『コースガイド』p.22「13. パソコンとソフトウェア」を参照し、用意したノート型パソコンにコースで使用するソフトウェア(Adobe Illustrator)をインストールし、起動することを確認した上で持参するようにしてください。
- ・2016年度以前の入学の方はパソコン必須ではなかったため、パソコンをお持ちでない方がこの科目を受講される際は手作業でおこないます。

●パソコンでの表現力を向上させるために

スクーリングの受講はソフトウェア導入のきっかけでもあり、この授業だけで全ての機能を習得できるわけではありません。ソフトウェアを使いこなすためには常日頃から使用し続けることが一番の近道です。

●屋外での調査について

屋外で簡単な調査を行います。体力に自信がない方はスクーリング初日に担当教員に申し出てください。

S	環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-2 日本庭園3 日本庭園からランドスケープを学ぶ 科目コード： 73014
配当年次	3年次～
単位数	1
履修の前提条件	スクーリング申込みまでに環境デザイン基礎Ⅰ（ランドスケープデザイン）」「環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] Ⅱ-1」を合格済みであること。 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること ※ 「環境デザイン [ランドスケープデザイン] Ⅰ-2、Ⅲ-3」を受講済みであることが望ましい。
開講日程・開講地・定員	環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-2(日本庭園3日本庭園からランドスケープを学ぶ)K 開催日程：2019年5月17日（金）～ 2019年5月18日（土） 開催地：京都、受講料： ￥13,000、定員：30 環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-2(日本庭園3日本庭園からランドスケープを学ぶ)T 開催日程：2019年5月25日（土）～ 2019年5月26日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥16,000、定員：30
担当者	尼崎博正、吉村龍二、田中孝、井原縁（京都）尼崎博正、高橋康夫、海老名誠（東京）高梨武彦*

科目概要と到達目標

京都では、宮廷文化人による御所を中心とした宮廷庭園が営まれ、一方江戸では、諸大名が競って作庭した大名庭園が多く生まれています。これらの時代性をふまえ、庭園の成立背景や様式について学びます。理論を知り、実践で検証するという考え方に立ち、御所・離宮・旧公家邸（予定）での庭園実習によって伝統的な庭園文化を支えてきた庭師の技術や管理手法（剪定・掃除など）を実際に学び、庭園の枠にとどまらず、さらに宮廷庭園および大名庭園の今日的意義や、都市の骨格を形成する大規模緑地の機能、これからのランドスケープデザインのあり方についても考察することを目指します。

評価基準と成績評価方法

1. 宮廷庭園・大名庭園の特性の理解
2. 積極的な実習への取り組み
3. 造園実技の体得度

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『庭づくりの心と実践』第1章・2章・4章 『造園史』安土桃山時代・江戸時代の庭園pp.114－157
参考文献・URL	『宮廷の庭』京都造形芸術大学日本庭園研究センター、2002年 白幡洋三郎『大名庭園：江戸の饗宴』講談社、1997年 東京公園文庫シリーズ（財）東京都公園協会発行

課題

京都会場では、1日目に宮内庁が管理する庭園で実習を行います。2日目は文化財庭園の保存修理についての講義を行い、次いで環境省が管理する国民公園「京都御苑」において、宮廷庭園の特徴と大規模緑地のありかたについて考察します。東京会場では、1日目に大名庭園の立地特性、歴史的背景、空間特性などについて講義を行い、次いで「小石川後楽園」を実地に訪れ、今日の庭園の保全などについて考察します。2日目は「六義園」で庭園実習を行います。庭園実習の作業内容はスクーリング当日の天候および庭園の状況により判断しますが、樹木手入れ、生垣の刈り込み、落葉清掃などを予定しています。

●成果物

訪れた宮廷あるいは大名庭園にて庭園構成の注目した場所を描いたスケッチと、余白部に特徴を記したデザインシート（A4×1～2枚）

授業計画

【京都会場】

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

学外集合 8:45に宮内庁事務所前に集合（時間厳守、集合時間に注意／集合時より実習服・地下足袋着用）

1～5講時 庭園実習（実習場所は宮内庁の事務所周りおよび庭園（京都御所）を予定。詳細は集合教室案内でお知らせします。／現地解散予定）

※実習場所変更の場合もあります。

●2日目

1講時 講義 文化財庭園の修復Ⅰ（教室）

2講時 講義 文化財庭園の修復Ⅱ（教室）

学外集合 13:40に「京都御苑」間之町口に集合

3～4講時 現地研修・デザインシートにスケッチ作成（京都御苑）

5講時 事前課題講評・デザインシート制作（スケッチ仕上げ）（教室）

【東京会場】

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1講時 講義 大名庭園の今昔Ⅰ（教室）

2講時 講義 大名庭園の今昔Ⅱ（教室）
学外集合 13：50に「小石川後楽園」正門前に集合
3～4講時 現地研修（小石川後楽園）
5講時 事前課題講評・デザインシートにスケッチ作成（小石川後楽園／現地解散予定）

●2日目

学外集合 9：00に「六義園」正門前集合（集合時より実習服・地下足袋着用）
1～5講時 庭園実習・デザインシート制作（スケッチ仕上げ）（六義園／現地解散予定）

受講にあたって

●持参物

1. 事前課題
2. 「フィールドワーク用具」（『コースガイド』p.26参照）
3. 「名園実習用具」（『コースガイド』p.25参照／2日目のみ持参）
4. 昼食（京都会場は1日目、東京会場は2日目のみ持参、実習地より途中外出はできません）
5. A4クリップボード

●コース貸出・支給

1. デザインシート（A4×2枚）

●諸経費

後日、以下の教材費等を指定口座から引き落とします。
・拝観料（東京のみ）

注意事項

・airUマイページ事前課題欄にある「屋外スクーリング時の注意事項」および「庭園実習時の注意事項」に目を通しておいってください。

・実習地には全員分の荷物を置くスペースはありません。実習に必要な荷物以外（宿泊荷物等）持参しないようにしてください。集合前に他所（駅のコインロッカーや宿泊場所など）へ預けておくようご協力ください。なお、実習後の着替え場所はありません。

S	環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-3 設計5 都市広場 科目コード： 73015
配当年次	3年次～
単位数	1
履修の前提条件	スクーリング申込みまでに「環境デザイン基礎1（ランドスケープデザイン）」「環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] II-1」を合格済みであること。 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-3(設計5都市広場)K 開催日程：2019年9月7日（土）～ 2019年9月8日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：30 環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-3(設計5都市広場)T 開催日程：2019年9月21日（土）～ 2019年9月22日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：30
担当者	津田主税、河合健*ほか（京都）、古賀健一、湊泰樹ほか（東京）

科目概要と到達目標

都市環境の中に自然を取り込むとともに、ローレンス・ハルプリンをはじめとして多くのランドスケープデザイナーが取り組んだ都市住民の憩いの場として小規模建築物（店舗・カフェなど）を併設する広場作りに取り組みます。ランドスケープデザインにおける都市環境としての広場機能として必要な建築物およびオープンスペースのマスタープラン（平面図・断面図）制作を行い、さらに自然の取り組み手法や、人々の交流の場作りについても学ぶことを目標とします。

評価基準と成績評価方法

1. デザインの思考プロセス
2. コンセプト内容と提案内容の妥当性
3. 新しい発想

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『ランドスケープデザインの諸相』 デザイン基礎『ランドスケープデザイン』
参考文献・URL	なし

課題

『都市広場のデザイン』

企業の本社ビルの近い部分に店舗・カフェなどを含む建物の広場デザインに取り組みます。都市の広場として、利用者の憩いや交流の場となるとともに、都市に自然を取り込み、企業のCSRとしての広場企画を含んだデザインに取り組みます。

テーマ：白川の水辺広場

所在地：京都府京都市東山区弁財天町付近

面積：約2,500㎡

●成果物

平面図（A3×1枚）

主要立断面図（2面程度）、コンセプトダイアグラム、スケッチなどを適宜レイアウト（A3×1枚）

授業計画

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1講時 課題説明、コンセプトメイキング

2講時 コンセプトメイキング

3～5講時 平面図作成

●2日目

1～2講時 主要断面図作成

3～4講時 平面図、主要立断面図の着彩・仕上げ

5講時 講評

受講にあたって

●持参物

1. 事前課題

2. 「製図用具」一式（『コースガイド』p.24「製図用具」参照）

※トレーシングペーパーは十分な量（ロール約1本）を持参すること。

●コース貸出・支給

1. 製図板・T定規

2. カッティングマット

3. ステンレス定規（60cm）

4. NTラシャ紙（100kg／A3×2枚）

5. A4モノクロ複合機

6. スプレーのり

S	環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-4 設計6 都市公園 科目コード： 73016
配当年次	3年次～
単位数	1
履修の前提条件	スクーリング申込みまでに「環境デザイン基礎1（ランドスケープデザイン）」「環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] II-1」を合格済みであること。 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-4(設計6都市公園)K 開催日程：2019年8月24日（土）～ 2019年8月25日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：30 環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-4(設計6都市公園)T 開催日程：2019年8月17日（土）～ 2019年8月18日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：30
担当者	忽那裕樹、津田主税（京都）、大橋鎬志、河野潤（東京）高梨武彦*

科目概要と到達目標

様々な利用者が想定される比較的広域の誘致範囲を想定した都市公園の基本計画に取り組みます。都市公園の計画プロセスおよび設計提案などに関し、公共的デザインの視点から見て、市民に説明可能な小規模建築物（休憩所・カフェ・トイレなど）の設計までも含めたデザインスキルの習得を目指します。

評価基準と成績評価方法

1. 計画プロセス
2. コンセプト内容と提案内容の妥当性
3. 説明可能な提案内容

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	テキスト『ランドスケープデザインと環境保全』第3章・第4章
参考文献・URL	デザイン基礎『ランドスケープデザイン』

課題

『都市公園の基本計画』

都市公園の現地調査を行ない、現状分析・評価に取り組みます。次いで、コンセプトメイキング、動線およびゾーニング計画を経て、休憩所やカフェなど小規模建築物も含めたマスタープラン（計画平面図と主要断面図）を制作します。計画にあたり、地域に求められている公共的機能に充分配慮するとともに、市民参加の緑地管理システムなど公園のソフトウェアについても考慮してください。

京都会場テーマ：先斗町の公園

所在地：京都市中京区先斗町通三条下る梅之木町付近

面積：約3,000㎡

東京会場テーマ：隅田川の公園

所在地：東京都中央区日本橋浜町二丁目 浜町公園の一部

面積：約3,000㎡

●成果物

平面図（A3×1枚）

主要立断面図（2面程度）、コンセプトダイアグラム、スケッチなどを適宜レイアウト（A3×1枚）、着色をおこないます

授業計画

【京都・東京会場】

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1～2講時 現地調査（現地集合／各会場の集合場所は「注意事項」欄参照）

3～4講時 現況評価およびコンセプトメイキング

5講時 ラフプランの作成

●2日目

1～2講時 マスタープラン作成

3講時 主要断面図作成

4講時 図面着色

5講時 全体講評

受講にあたって

●持参物

1. 事前課題

2. 「製図用具」一式（『コースガイド』p.24「製図用具」参照）

※トレーシングペーパーは十分な量（ロール約1本）を持参すること。

3. デジタルカメラは現地調査用として適宜持参。

4. 動きやすい服・歩きやすい靴・雨具など

※初日は現地調査のため、不意の雨や紫外線対策など天候や各自の体調に合わせて必要なものを持参すること。

●コース貸出・支給

1. 製図板・T定規

2. カッティングマット
3. ステンレス定規 (60cm)
4. A4モノクロ複合機
5. スプレーのり
6. プロジェクトペーパー (方眼紙/A3×3枚)

注意事項

●現地集合について

初日は学外集合です。屋外で設計対象地の現地調査をおこなった後大学に移動し、教室で平面図等の作成へ取り組みます。

宿泊等の荷物はあらかじめ駅のコインロッカーなどに預けてきてください。

京都会場 8月24日(土) 9:30 京阪電鉄「三条京阪」駅5番出口すぐ高山彦九郎像(通称:土下座像)前

東京会場 8月17日(土) 9:30 都営地下鉄「浜町」A2出口を出てすぐ(地上)ベンチ前

※東京会場の集合場所付近は遊歩道です。通行の妨げにならないよう注意してください。

S	環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-5 総合的造景 科目コード： 73017
配当年次	3年次～
単位数	1
履修の前提条件	スクーリング申込みまでに「環境デザイン基礎1（ランドスケープデザイン）」「環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] II-1」を合格済みであること。 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-5(総合的造景)K 開催日程：2019年4月20日（土）～ 2019年4月21日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：30 環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-5(総合的造景)T 開催日程：2019年4月27日（土）～ 2019年4月28日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：30
担当者	芳村大輔、井上智治（京都）瀬長剛、朝山まり子（東京）高梨武彦*

科目概要と到達目標

卒業制作の前段階として、プレゼンテーション技術としてのイメージスケッチ・パース技法を修得する。設計（平面図）をもとにイメージスケッチ・パース制作を行う。

評価基準と成績評価方法

1. プランニングの妥当性
2. 3次元空間表現手法の理解
3. イメージスケッチ・パースの美しさ

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『デザイン基礎[ランドスケープデザイン]』
参考文献・URL	高崎康隆・本田奈緒子『すぐ描ける! ガーデンデザインのプレゼンテクニック』彰国社、2012年

課題

事前課題として行っている都市公園の改善計画平面図をもとに、3次元描法によりイメージスケッチ・パースを制作する。また着彩も行う。

●成果物

改善計画平面図（A3×1枚）、コンセプト・ゾーニング・動線計画（A3×1枚）、断面図（A3×1枚）、パース（A3×1～2枚）、着彩をおこないます。

授業計画

【京都・東京会場】

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1講時 事前課題である都市公園の改善計画平面図、コンセプト・ゾーニング・動線計画の確認

2講時 平面図仕上げ、コンセプト・ゾーニング・動線計画仕上げ

3～5講時 パースのラフ作成（1アングルもしくは2アングル）

●2日目

1講時 断面図（1ヶ所）作成

2～3講時 パース作成（1アングルもしくは2アングル）

4講時 パース仕上げ（1アングルもしくは2アングル）

5講時 講評

受講にあたって

●持参物

1. 「製図用具」一式（『コースガイド』p.24「製図用具」参照）

※トレーシングペーパーは十分な量（ロール約1本）を持参すること

2. デジタルカメラ（適宜）

3. シャープペンシル（0.5mmおよび0.7mm）

※芯はH・HB・Fを持参すること

4. 鉛筆（HBおよび2B）

●コース貸出・支給

1. 製図板・T定規

2. A4モノクロ複合機

3. NTラシャ紙（100kg/A3×4～5枚）

S	環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-6 都市・里の景観デザイン 科目コード： 73018
配当年次	3年次～
単位数	1
履修の前提条件	スクーリング申込みまでに「環境デザイン基礎1(ランドスケープデザイン)」「環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] II-1」を合格済みであること。 受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。 ※ 「環境デザイン [ランドスケープデザイン] I-3」、「環境デザイン [ランドスケープデザイン] IV-2」を受講済みであることが望ましい。
開講日程・ 開講地・定員	環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-6(都市・里の景観デザイン)K 開催日程：2019年7月13日(土)～ 2019年7月14日(日) 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：30 環境デザイン [ランドスケープデザイン] V-6(都市・里の景観デザイン)T 開催日程：2019年7月20日(土)～ 2019年7月21日(日) 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：30
担当者	遠藤英樹、下村泰史、上岡典子ほか(京都) 羽生冬佳、菅博嗣、木村直紀ほか(東京) 高梨武彦*

科目概要と到達目標

都市部と里地里山での農の風景再生を考察するため、これまでに基本的事項を学びました。本科目では観光計画や地域計画を通じて、より具体的に里と農の抱える課題と向き合い、解決策を見出すための手法について学びます。さらに、都市部と里地里山での農の風景再生に関する構想シートを作成し、口頭発表します。このことによって、都市部と里地里山での農の風景再生に必要な事項を考察し構想としてまとめるプロセスの習得を目指します。

評価基準と成績評価方法

1. 都市部と里地里山での農の風景再生に関する理解
2. 情報・資料の活用
3. 分析の正確さと提案の独自性
4. 構成シートの美しいレイアウト

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。課題に取り組む際には学んだことを十分に活かし、課題の提出後は次年度につながる学習の準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『ランドスケープデザインと環境保全』第3章・第4章
参考文献・URL	デービット・アトキンソン『新・観光立国論』東洋経済新聞社、2015年 遠藤英樹『ガイドブック的!観光社会学の歩き方』春風社、2007年 小田切徳美編『農山村再生に挑む』岩波書店、2013年 宗田好史『なぜイタリアの村は美しく元気なのか』学芸出版社、2012年 川村匡由『脱・限界集落はスイスに学べ』農山漁村文化協会、2016年 「フォレストタウン わかば」 http://www.vill.kawaba.gunma.jp/gyosei/n_publicinfo/backnumber/no371/feature/index.html

課題

これまでに都市部と里地里山での風景再生を習得するための基礎として、「環境デザイン〔ランドスケープデザイン〕I-3」、「環境デザイン〔ランドスケープデザイン〕IV-2」において、グリーンツーリズム、農の多面的機能、野生動物の生態と保護管理などを学んできました。本科目ではより具体的に都市部そして里地里山の抱える課題と向き合います。

1日目は農の活性化を考える上で不可欠となっている観光計画の基本を学びます。次いで、具体的なフィールドを調査し資料収集にもとづき、そこでの場所づくり、地域活動等に対する提案を行います。2日目は提案内容を完成させ、相互プレゼンテーションを通じて都市部と里地里山の風景・景観問題と打開策について考えます。

●成果物

構想シート（A3×2～3枚程度もしくはA2×1～2枚程度）

※Adobe IllustratorやMicrosoft Word、PowerPoint等のソフトウェアを使用した制作も可。

授業計画

【京都・東京会場】

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1講時 講義 観光概論Ⅰ（教室）

2講時 講義 観光概論Ⅱ（教室）

3～5講時 構想シート作成（教室）

●2日目

1～3講時 構想シート作成（教室）

4講時 構想シート仕上げ（教室）

5講時 発表（教室）

受講にあたって

●持参物

1. 事前課題

2. 付箋（75mm×75mmサイズ／ピンク・ブルー・イエローの3色）

3. カッターまたはハサミ

4. のり（液体のりが望ましい）
5. ノートパソコン（可能な限り持参、提案および構想シート作成時に使用可能）
6. USBメモリ（ノートパソコン持参の場合のみ）
7. 電源用延長コード（ノートパソコン持参の場合のみ）
8. マウス（ホイールボタンがついているもの・ノートパソコン持参の場合のみ）
9. コンベックス・三角スケール

※デザインを支援するために行う文献調査や現地調査（デザインサーベイ）の必需品です。

10. 学内LANアカウント（個人パソコンを学内LANに接続する場合のみ）

●コース貸出・支給

1. カッティングマット
2. 普通紙（A4・A3・A2）
3. スプレーのり
4. ステンレス定規（60cm）
5. A4モノクロ複合機

S	卒業制作（ランドスケープデザイン） 科目コード： 73091
配当年次	4年次～
単位数	6
履修の前提条件	「卒業制作1、2」：前年度末までに「卒業制作着手要件」を充足し、「卒業制作着手」の許可を受けていること。 「卒業制作3～6」：「卒業制作1～2」を受講し、かつ、申込までに「卒業制作3～6」の履修の前提条件を充足していること。（『コースガイド』pp.6～7参照）。 ※「卒業制作1、2」を受講済みであっても「卒業制作3～6」申込時点で履修の前提条件を満たせない場合、「卒業制作3～6」へ進むことはできず「卒業制作1、2」についても次年度以降に再度受講となります。 ※受講までに事前課題を完了させ、指定のあるものはスクーリング初日に持参すること。 ※事前課題は「スクーリング・研究経過報告」から閲覧・ダウンロードしてください。
開講日程・ 開講地・定員	卒業制作1(テーマ発表)K 開催日程：2019年6月29日（土）～ 2019年6月30日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：なし 卒業制作1(テーマ発表)T 開催日程：2019年6月15日（土）～ 2019年6月16日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：なし 卒業制作2(コンセプト)K 開催日程：2019年8月10日（土）～ 2019年8月11日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：なし 卒業制作2(コンセプト)T 開催日程：2019年8月3日（土）～ 2019年8月4日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：なし 卒業制作3(中間発表)K 開催日程：2019年10月19日（土）～ 2019年10月20日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：なし 卒業制作3(中間発表)T 開催日程：2019年10月12日（土）～ 2019年10月13日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：なし 卒業制作4(計画平面図)K 開催日程：2019年11月16日（土）～ 2019年11月17日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：なし 卒業制作4(計画平面図)T 開催日程：2019年11月9日（土）～ 2019年11月10日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：なし 卒業制作5(模型)K 開催日程：2019年12月21日（土）～ 2019年12月22日（日）

開講日程・ 開講地・定員	開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：なし
	卒業制作5(模型)T 開催日程：2019年12月14日（土）～ 2019年12月15日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：なし
	卒業制作6(最終発表)K 開催日程：2020年1月25日（土）～ 2020年1月26日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：なし
	卒業制作6(最終発表)T 開催日程：2020年2月1日（土）～ 2020年2月2日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：なし
担当者	高梨武彦*、尼崎博正、山田匡、由井真波、高崎康隆、渡辺美緒ほか

科目概要と到達目標

卒業制作は、これまでの本コースの研究制作を総括し、学生本人の卒業後のランドスケープデザインへのかかわり方を探るものとして非常に重要なものと位置づけられます。

授業の進行は、できる限り個別指導のかたちを取るよう配慮し、個人のテーマ・目標に基づいた問題意識の深化から最終成果へと至るプロセスを重視します。

前半の成果は「卒業制作3」スクーリングの中間発表で厳正な審査を経た上で、後半の制作へと引き継がれ、最終的には「卒業制作6」スクーリングにおいて教員により最終審査が行われ、卒業制作展（3月中旬ごろ京都瓜生山キャンパスにて開催）やWEB卒業制作展にて対外的な成果公表に取り組みます。

評価基準と成績評価方法

1. 思考の継続性
2. 立案・構築力
3. 提案の社会的影響
4. 考え方の独自性
5. パネル・模型の美しい仕上がり

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とし総合的に評価します。

予習・復習

受講前にテキストや参考文献などを読んで、受講内容について理解を深めるようにしてください。また、技法・材料に関することや様々な専門用語が数多く出てきますので、それらについても事前に調べておきましょう。受講後にノートやテキストをふり返し、受講内容を整理してしっかり復習してください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	デザイン科Web卒業制作展 参考作品 http://t.kyoto-art.ac.jp/archives/?from=air-u.campus 2017年度 卒業制作作品集 https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/archive/2017/

課題

これまで習得してきたランドスケープデザインそして総合教育科目などで学んだ知識と技術を総合して、各自が一番取り組んでみたいテーマに1年をかけて挑戦し、社会に提案・提示してゆくことを目的とします。前半では、テーマの設定、計画対象地の選定、ベース図（現状平面図）の入手あるいは作成、計画地に関する上位計画など関連資料の収集、現地調査と写真撮影などを行います。ついでこれら制作作業を通じテーマの吟味・見直しをし、問題点を抽出し計画・設計にむけたコンセプトを決定し、ゾーニング図や動線図およびマスタープランを作成します。後半では、マスタープランをブラッシュアップし深化・完成させ、イメージスケッチや断面図を含むパネルを4～6枚作成します。そして、模型（場合によってデザインノート）の制作を行います。これらの成果物をもって、最終スクーリングにてプレゼンテーションをおこない最終審査を受け合否判定が行われます。そして、成果物を通信教育部卒業制作展に展示、通信教育部デザイン科WEB卒業制作展に出展します。このような一連の過程をクリアして卒業制作という課題は完結となります。

授業計画

【卒業制作1】

1日目は、事前課題に基づき各自が進めてきた成果に対し、個別指導を受けてテーマ発表の準備を行う。2日目には各自がテーマと概要および調査方法（データ計測・アンケート調査など）についてのプレゼンテーションおよび教員とのディスカッションを行い、今後の制作の方向性や制作に関する課題を整理し、「環境デザイン演習［ランドスケープデザイン］Ⅳ 第1課題 中間報告」および「卒業制作2」に向けての具体的な作業内容を明確にする。なお、スクーリング中に模型制作について確認をとります。

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1～5講時 個別指導およびテーマ発表準備

●2日目

1～3講時 テーマ発表

4～5講時 テキスト科目提出に向けての課題整理、次回スクーリングに向けた作業説明

【卒業制作2】

「卒業制作1」での検討に基づいて各自が進めてきた成果に対し個別指導を受け、各自の進行状況の確認と相互議論により中間発表への検討項目を明確にする。

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1～3講時 制作物の整理と制作個別指導

4～5講時 個別指導

●2日目

1～5講時 制作指導と次回スクーリングへ向けての課題整理

【卒業制作3】

「卒業制作1、2」スクーリングでの議論や指導、自宅での研究制作をもとに各自が進めてきた過程を整理し、中間発表を行う。

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1～5講時 中間発表（※受講者数によって開始時間の調整を行う）

（1）中間発表：教員による中間審査

●2日目

1～4講時 個別指導

5講時 今後の制作に向けての具体的検討・模型制作の有無の確認

（1）計画内容のチェック：現況調査・分析評価・コンセプトなどのチェックおよび指導を受ける。

（2）平面計画のチェックを行い、最終調整をしながらマスタープランを仕上げる。

（3）今後の制作に向けての具体的検討：中間審査およびマスタープランの修正をふまえて、今後の制作のために必要な下準備、パネル枚数の検討、次回卒業制作スクーリングまでの作業内容・準備物などについて具体的検討を行う。

【卒業制作4】

設計コンセプトとデザイン意図を的確に表現するプレゼンテーションパネルの制作を行う。現地調査・評価など計画の前提条件、計画コンセプト、動線・ゾーニング、平面図および立・断面図、パースペクティブスケッチやアクソメ図などについて、地形や植栽の効果的表現（凹凸・陰影など）を完成させ、各図面に必要かつ効果的な短い説明文、タイトル、キーワード等を加え、A1パネル4～6枚にまとめる。NTラシャ紙などに仕上げコピーを行い、スチレンボードによる裏打ちを行ったA1パネルにまとめ上げ、着彩前の白黒パネルとして仕上げる。着彩については、本スクーリング終了後、細部修正とともに、自宅作業で仕上げる。

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1講時 プレゼンテーションパネルの組み立て方

2～5講時 パネル制作・個別指導

●2日目

1～5講時 パネル制作・模型制作の相談

【卒業制作5】

「卒業制作4」で作成したマスタープラン、および現況分析・コンセプト・動線やゾーニングなどのダイアグラム・プラン・断面図・立面図など計画全般に関わる図面類を一式確認して完成させる。模型制作の学生は水貼り、梱包用ダンボール箱を作る。（梱包用ダンボールはコースで準備）

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1講時 Web卒業制作展の説明等

2～5講時 模型制作・各自が水貼りおよび模型梱包用箱作成（模型を制作しない学生はパネル制作）

●2日目

1～4講時 パネル制作および模型制作・個別指導

5講時 最終合評にむけての準備

- ・スクーリング後、自宅にて模型を制作する。

【卒業制作6】

これまで制作したものすべての最終微調整を行い、最終合評に向けてのプレゼンテーション準備を行う。最終合評においては、卒業制作として単位認定の可否が教員により決定される。また、卒業制作展出品のため、全体合評終了後に作品保管のため作品梱包を行い、卒業制作展までの期間大学で保管する。卒業制作展の搬出時に作品を持ち帰れるよう、運搬の目途を立てておくこと。

●自宅学習

1～5講時 事前課題

●1日目

1～2講時 全体調整と最終仕上げ

3～5講時 最終合評準備

●2日目

1～4講時 最終合評（※）

5講時 作品梱包

●最終成果物

各自の計画にもとづいた卒業制作作品一式（A1パネル4～6枚、および模型あるいはデザインノート）。

受講にあたって

●持参物

【卒業制作1】

●持参物

・卒業制作にかかわる調査、分析、評価、コンセプトワーク、エスキース、卒業制作年間計画書(書式自由)など。

・ポートフォリオ

補助資料「ポートフォリオの手引き」（[airUマイページ](#)＞カリキュラム一覧（シラバス）＞「環境デザイン [ランドスケープデザイン] I-1」または「デザイン基礎1（ランドスケープデザイン）」に掲載）を参考に、これまでの作品類を A3 サイズのポートフォリオにまとめている方は持参ください。卒業制作を進めていくうえで各自に適した手法とプロセスについて検討するための参考とさせていただきます。

・テーマ発表のプレゼンテーション資料一式

・学内LANアカウント（個人パソコンを学内LANに接続する場合のみ）

・電源用延長コード（ノート PC 持参の方のみ）。

・製図用具（『コースガイド』p.24「14.スクーリング持参物」参照）。

・その他、各自のテーマ設定により必要な資料や図面類を適宜持参してください。

●その他

・1 年次～ 3 年次のスクーリング成績の平均が70 点以下の場合には、本人と相談のうえで研究室がテーマを設定することがあります。

・デザイン・設計系のテーマに取り組む場合、広大な敷地を卒業制作のテーマに選ばないこと（できる限り 1ha 以下）。

・本コースのカリキュラムから大きく逸脱するようなテーマに対しては、十分な指導を行えない場合もあり得るので、事前に質問票（郵送・FAX・メール）で研究室と相談してください。

【卒業制作2】

●持参物

- ・学内LANアカウント（個人パソコンを学内LANに接続する場合のみ）

以下の項目を参考に、各自のテーマに合わせて、資料や図面などを持参する。

- (1) 1/25000～1/100000程度の地図など、計画地の広域的な位置づけを明確にできる地図の入手。
 - (2) 1/2500～1/10000程度の地形図や都市計画図など、計画地の周辺空間における位置づけを明確にできる図面の入手。
 - (3) テーマに関わる、総合計画、景観協定、まちづくり計画、開発計画など行政や事業主体が作成している上位計画に関する報告書やパンフレットなどの入手。
 - (4) 各自のテーマ対象地の A1 サイズのベース図（現況平面図）※を入手あるいは作成して持参する。
- ※設計・計画対象地が全て入る図面を一枚作成してください（スクーリングで配付しているような計画・設計対象地 図面をイメージ）。計画・設計対象範囲を明示し、縮尺も間違いのないように設定すること。縮尺は規模に応じて、1/50、1/100、1/200、1/250、1/300、1/400、1/500。これを越えるようであれば、計画そのものがヒューマンスケールを逸脱している、つまり対象の規模が大きすぎる可能性がありますので、規模を検討してください。また、中途半端な縮尺は避けて、三角スケールにあるような計算しやすい縮尺を設定してください。
- (5) 現況調査時の写真整理と分析。
 - (6) テーマ設定の明確化・テーマに関連するデータ収集と分析、問題点の把握・可能性の検討など、一般的な前提条件の整理。
 - (7) 計画コンセプト、スタディプラン、イメージスケッチなど計画・デザインにまで踏み込んだ検討。
 - (8) 対象地での住民意識調査・アンケート調査など、コンセプトを傍証する上で必要な調査結果。
 - (9) 各自のテーマ設定により、必要な制作用具・資料を適宜持参する。
 - (10) 受講者の状況によっては模型制作を行う場合もあり。

【卒業制作3】

●持参物

- ・学内LANアカウント（個人PCを学内LANに接続する場合のみ）

以下の項目を参考に、各自のテーマに合わせてプレゼンテーションを準備し、併せて資料や図面などを持参してください。

- (1) 計画敷地の広域的な位置づけをあきらかにする資料（地図など）。
- (2) 計画敷地の周辺状況を含む中域的な位置づけをあきらかにする資料（1/2500 都市計画図など）。
- (3) 計画地に関わる上位計画に関する資料。
- (4) 計画地の現況調査および評価をまとめたもの（現況写真、現況平面図、現況評価）。
- (5) 計画を行う上で重要と思われる歴史的資料・社会的資料（アンケートなど）・自然的資料・機能的資料などをまとめたもの。
- (6) 計画の方向性、およびコンセプトをまとめたもの。
- (7) 計画に関するスタディプラン複数案およびそれぞれの動線・ゾーニングなどとスタディプランの相互評価。
- (8) コンセプトおよびスタディの成果を踏まえたマスタープラン（設計では1/50 ～ 1/500、構想では1/5000 ～ 1/10000）・動線・ゾーニングなど（縮尺は各自の計画に最適なものとする）。
- (9) 断面図・立面図・イメージスケッチなど計画の全体像を理解するために必要なもの。
- (10) 可能であればスタディ模型。

※画材等はマスタープランの表現のために、各自必要と思われるものを持参すること。その他中間発表や制作に必要と思われる用具を各自の判断で持参すること。

●その他

- ・ 中間発表でのプレゼンテーション用機材は「卒業制作 1」スクーリングと同様のものを準備します

が、映像（DVD）などの特殊機材を使用する人は事前に研究室まで質問票・質問メールにより相談してください。機材・データ持参については「スクーリング制作環境」を参照してください。

・庭園などの実作や、PCを使用した動画・HTMLの制作などの特殊な作品形態の場合は、作品の特性により模型制作が必要ない場合があります。このような特殊形態の作品は、卒業制作展の展示も考慮し計画内容の全体像と成果を把握できるようなプレゼンテーション準備を行ってください。

【卒業制作4】

●持参物

・学内LANアカウント（個人PCを学内LANに接続する場合のみ）

・A1サイズパネル案。補助資料「プレゼンテーションパネル作成の手引き」でラフレイアウトに相当するもの、すなわちトレペや普通紙に各文章・分析図・図面等を仮止めしたもの。パソコンでレイアウトを考え、レイアウト案をデータで持参することも可能（ただし、教室に用意するノートPCで使用できるソフトはExcel, Word, PowerPointです。データ持参については「その他」を参照）。

※「卒業制作3」スクーリングでの指導に基づき制作した現地調査・評価など計画の前提条件、計画コンセプト、動線・ゾーニング、平面図および立・断面図、パースペクティブスケッチやアクソメ図などについて、すべて白黒線画で完成させてください。

平面図が途中であったり、計画案を変更したい等があれば事前に取り組み、必ず仕上げて持ってきてください。スクーリング当日は、あくまでプレゼンテーションの高品質化を目指すものであり、過去のやり残しを補うものではありません。自宅作業において不明点がある場合は質問票（郵送・FAX・メール）にて研究室へ早めに質問・相談をしてください。これら図面を用いて、プレゼンテーションパネルを制作することが最終目標です。

なお、現在までに蓄積された資料や図面などはすべて持参してください（原図を含む）。

標準的なパネルレイアウトは、以下のようなものです。

パネル1：計画の目標・ねらい、広域的位置付け、現況評価分析など計画の前提条件の整理

パネル2：コンセプト、動線

パネル3：ゾーニングなど計画の骨子

パネル4：計画平面図

パネル5：断面図・立面図などの図面表現

パネル6：スケッチ・パース・模型写真など

パネルレイアウト用紙の左側にパネル仕上がりイメージを描きこみ、右側にパネル内に表現される資料・文章・図面などのリストを記入してください。これにより、パネルのアウトラインが見えてくるとともに、伝えたい項目が欠けていないかなどを検討することができます。

レイアウトについては、各自の計画をいかに効果的に伝えるかということを考えて、各自の制作の特性に合ったレイアウトを考えておいてください。

・図面に入る文字は、手書きでなくワープロで仕上げます。事前に打ち出したものを持参するか、テキストデータあるいはワード（Windows版）で事前に作成したものを、CD-R、USBフラッシュメモリ、メモ리카ードなどのメディアに保存したものを持参してください。教室内でA4サイズ・モノクロでの出力が可能です。

・各自の制作に必要な用具。パネル制作に必要な切貼り用具（ハサミ、カッター、のり、テープ類）、各自の表現に適した着彩用具は各自で持参してください。

・グレー、ベージュ等の好みのA1サイズ用紙、枚数適宜（仕上げコピー用として使用、色の試し塗り、失敗なども含めて各パネル当り1枚の予備用紙を準備しておいた方がよい）。用紙としては、NTラシヤ100kg、薄手セント紙類などがあるが、コピー機に通るかどうか、紙面へのコピーインクのつき方等、色々特性があるので、A4などのサイズであらかじめ適性を確認しておくこと。紙の色は薄めが良い。

・電源用延長コード（ノートPCを持参する場合）

・補助資料「プレゼンテーションパネル作成の手引き」・「アースワーク基礎」（airUマイページ＞カリキュラム一覧（シラバス）＞「環境デザイン［ランドスケープデザイン］I-1」または「デザイン基礎I（ランドスケープデザイン）」に掲載）

・その他制作に必要なと思われる用具を各自の判断で持参すること。

●その他

- ・プレゼンテーションパネルは、卒業制作展（3月中旬～下旬開催予定）に出品される作品となります。
- ・卒業制作の後半は、実制作が中心となってゆくため、自宅における事前の準備、スクーリングでの制作等に多くの時間が必要となります。早目に作業を進めておくよう日常から心がけてください。
- ・庭園などの実作や、PCを使用した動画・HTMLの制作などの特殊な作品形態の場合は、卒業制作展のことを考え、パネルにより計画内容の全体像と成果が把握可能な展示を行ってください。この場合の模型制作内容は、別途打ち合わせのうえで個別対応とします。

【卒業制作5】

●持参物

- ・学内LANアカウント（個人PCを学内LANに接続する場合のみ）

＜模型を制作する場合＞

- ・模型制作の指導を行いますので、模型制作の範囲やねらい、使用素材・イメージなど、自分の作品にふさわしい内容について検討し、各自必要に応じて準備・持参する。

・計画平面図にコンターを検討・記入したコンター図を持参してください。模型の縮尺はマスタープランと同じ場合が殆んどですが、平面図より大型のものを作成する場合は、別途、質問票などで事前に調整してください。

・補助資料「アースワーク基礎」（airUマイページ＞カリキュラム一覧（シラバス）＞「環境デザイン［ランドスケープデザイン］ I-1」または「デザイン基礎1（ランドスケープデザイン）」に掲載）の中にある「5-b樹木の作り方」を参考にして、模型樹木を作ったことがない人は事前に樹木の作り方を練習しておくこと。すでに模型制作のスクーリングを受講し、樹木の作り方を学んだ人は、最終模型で必要となる樹木の実制作を開始しておくことが望ましい。事前に準備した模型材料は、スクーリング当日に各自持参すること。

- ・「模型用具」（『コースガイド』p.24「14.スクーリング持参物」参照）を必ず持参すること。
- ・デジタルカメラは可能な限り持参。なお、完成模型の写真をパネルに使用する可能性も考慮のこと。
- ・カッター、替刃、カッティング定規は忘れずに持参すること。
- ・補助資料「アースワーク基礎」（airUマイページ＞カリキュラム一覧（シラバス）＞「環境デザイン［ランドスケープデザイン］ I-1」または「デザイン基礎1（ランドスケープデザイン）」に掲載）。
- ・その他制作に必要と思われる用具を各自の判断で持参すること。
- ・模型を制作する人は、制作した模型を自宅まで持ち帰る必要があります（宅急便も可）。手持ちの場合、スクーリング中に模型梱包用のダンボール箱を制作します。また宅急便により自宅に返送することもできますので、模型を持ち帰るための手立てを考えておいてください。なお、この模型は「卒業制作6」のスクーリングで使用するため会場まで持ち込み、もしくは事前送付をしてください（詳細は【卒業制作6】の「作品の事前送付・持ち込みについて」参照）。

＜デザインノートを作成する（模型を制作しない場合）＞

・パネル内容を確定し、数カ所の未制作または相談箇所を残す状況にしてこれまでの制作品であるプレゼンテーションシート一式を持参する。当日はパネルの最終仕上げに入ることができるよう準備を整えてください。

- ・デザインノートを持参してください。
- ・補助資料「プレゼンテーションパネル作成の手引き」（airUマイページ＞カリキュラム一覧（シラバス）＞「環境デザイン［ランドスケープデザイン］ I-1」または「デザイン基礎1（ランドスケープデザイン）」に掲載）。
- ・その他制作に必要と思われる用具を各自の判断で持参すること。
- ・パネル持ち帰り用の袋など（必要な方のみ）。

●諸経費

・模型箱用大型ダンボールシート、模型台用木パネル（A1）、NTラシヤ紙（黒/B1）費用として3,000円程度（2018年度実績）をご負担いただきます（使用する方のみ）。

●その他

・当日の検討・作業項目は要点を絞り、時間を有効に使えるよう事前の準備を十分に行っておいてください。

・「卒業制作6」に向けてプレゼンテーション用のパワーポイントデータを印刷して持参し、内容についての指導を受けます。

【卒業制作6】

●持参物

＜模型を制作した場合＞

- ・完成したパネルおよび模型一式。
- ・その他プレゼンテーション準備。
- ・WEB卒展用に撮影した完成したパネルおよび模型の写真データ一式。

＜デザインノートを作成した（模型を制作しない）場合＞

- ・完成したパネル一式。
- ・デザインノートの完成物2部。
- ・その他プレゼンテーション準備。

＜共通の準備物＞

- ・学内LANアカウント（個人PCを学内LANに接続する場合のみ）
- ・最終調整に必要と思われる画材・用具などを、各自の判断により準備・持参すること。
- ・プレゼンテーション時の機材は「卒業制作3」スクーリング中間発表と同様のものを準備します。大学のノートパソコンでパワーポイントを使用する場合は「スクーリング制作環境」を参照のうえデータを準備してください。また、特殊なプレゼンテーション機材を必要とする場合には、事前に質問票（郵送・FAX・メール）にて研究室まで相談し、調整をしてください。

●その他

- ・スクーリング初日で制作を仕上げ、2日目の最終合評では必ず完成作品を発表してください。最終合評では、完成した作品に基づいたプレゼンテーションに対して、担当教員による厳正な審査を受けます。
- ・最終合評開始時に作品が未完成で、やむなく他人の発表中に制作を継続する場合は大幅な減点とします。
- ・最終合評の審査で合格した作品については、発表後（スクーリング終了後）に一切変更を加えないこと。ただし、以下の3点に該当する場合は作品の修正を許可します。

- a) あきらかな間違いがあるとき
- b) 作品が破損したとき
- c) 教員から修正指示が出された場合

もし許可なく作品を変更した場合は、未完成の作品をもって最終合評に臨んだこととなり、卒業制作の単位認定は不可となります。

●作品の事前送付・持ち込みについて

作品の事前送付・持ち込みを受け付けます。受付日時・方法は卒制5の時にご案内します。なお、受付日時・送付方法の間違いを防ぐため、電話での連絡はひかえてください。希望される方は質問票（郵送・メール・FAX）にて研究室へご連絡ください。

- ・制作中の模型は可能な限り持参してください。破損する恐れがあります。
- ・東京外苑キャンパスへ送付・持ち込みの場合も京都の事務局へ連絡してください（東京外苑キャンパ

スではこの件に関する問い合わせ等連絡は受け付けておりません）。

- ・梱包は各自の責任で行ってください。
- ・預かった荷物はスクーリング教室で受け渡しとなります。
- ・本学には駐車場がありません。自家用車で搬入する方は近隣のコインパーキングをご利用ください。

●諸経費

※東京受講の方は卒業制作展のために「卒業制作6」終了後に京都へ作品を送付する必要があり、別途送付費用がかかります。作品サイズ、重さによって異なりますが3,000～5,000円程度（2018年度実績）。

●その他

●スクーリング制作環境

作品を制作するにあたって必要と思われるものを各自で判断のうえで持参してください。以下は「卒業制作1～6」共通のスクーリング制作環境です。

<コース貸し出し用具>

- ・製図板（A1）、T定規（90cm）、カッティングマット（A1またはA2）、スプレーのり、ヒートカッター、ステンレス定規（60cmまたは100cm）、A4モノクロ複合機

<コース支給材料>

- ・全員に共通するような大型ダンボールなどの梱包材料、模型材料の一部などは、研究室で検討のうえ、材料支給を行います。

<パソコンの使用について>

- ・教室に用意されるパソコンは1台のみ（Windows10またはWindows7）、「Office」のバージョンは「Office 2007」または「Office2010」です。
- ・教室内ではインターネット接続はできません。個人所有パソコンを学内LANに接続し、インターネット利用をする場合は『学習ガイド』pp.91～93参照。
- ・ノートパソコンを用いて制作をする方は、使いなれた自身のノートパソコンを持参することをおすすめします。持ち込むパソコン、メディア等はすべて事前にウイルスチェックを済ませておいてください。また、教室内はコンセントの数に限りがありますのでノートパソコンを持参する場合は2～3メートル程度の電源用延長コードもあわせて持参してください。
- ・データを持参する場合はUSBフラッシュメモリにデータを保存したものを持参してください。
- ・Macintoshのパソコンを持参し、プレゼンテーションで使用する場合はプロジェクター映写のための変換ケーブルもあわせて持参してください。変換ケーブルの持参がなければプレゼンテーションで使用することはできません。
- ・印刷、プレゼンテーションなどについて、個人のパソコン環境に即座に対応することは難しい場合があります。希望する作業内容や機材環境について不明点がある場合は、事前に「学習に関する質問票」または質問用電子メールで研究室まで具体的な希望を伝え、調整を行ってください。

<プリンタ出力について>

- ・教室設置のノートパソコン（1台のみ）によりエクセル、ワード、およびA4白黒プリンタを使用できます。その他の印刷については学内の課金式プリンタ、コピー機、会場付近の出力ショップを利用してください。その際の出力代金は各自負担となります。
- ・教室に配置するA4モノクロプリンタの機種は以下のとおりです。自身のノートPCと直接接続してA4モノクロプリンタを使用予定の方は、Canonのホームページより事前にドライバをダウンロードして保存し、インストールしていない状態で持参してください。

※Canonソフトウェアダウンロードページ（スモールオフィス向け複合機）

http://cweb.canon.jp/cgi-bin/download/select-product-by-catg.cgi?i_cd_pr_catg=107

京都会場：Canon Satera MF-4380またはMF-4830

東京会場：Canon Satera MF-3220

●スクーリング期間外の質問について

・卒業制作のスクーリング期間外に質問や相談がある場合は質問票（郵便・FAX・メール）により問い合わせてください。図面などの検討に必要な資料がある場合はコピー（原本は送付しないこと）を質問票とともに郵送してください（返信先明記・切手貼付した返信用封筒を同封のこと）。

・卒業制作の費用について

画材・模型材料などの材料代、コピー代金、カラーコピー代金、運送費、旅費、プリントアウト代金などの諸費用は、基本的に制作者の負担とします。特殊な材料など大学で発注したものなどは、個別精算を行い、各人の指定口座からの引き落としとなります。

●テキスト科目との関連

・スクーリングでの指導内容をふまえてテキスト科目「環境デザイン演習［ランドスケープデザイン］Ⅳ」を提出します。各課題には提出時期が設定されていますので、『コースガイド』p.4、airUマイページで各科目のページを確認し提出に遅れないようにしてください。

TW	デザイン基礎1（ランドスケープデザイン） 設計製図基礎 科目コード： 73601
配当年次	1年次～
単位数	2
履修の前提条件	なし
履修方法	作品第1課題のみ
課題提出形態	郵送・窓口
課題数	1
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。
単位修得試験	無
担当者	佐藤勇武*、湊泰樹

科目概要と到達目標

ランドスケープデザイン・建築・環境デザインにおける設計に必要な各種製図用具の使用法や建築物・地形・樹木などの基礎的な図面描法を学び、トレースの実習を通して基本的な製図技術を習得することを目指します。

評価基準と成績評価方法

1. 図面の正確さ
2. 図面表現の丁寧さ
3. 基本的な平面図・断面図・立面図の理解

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『デザイン基礎［ランドスケープデザイン］』第2章
参考文献・URL	濱名光彦+小板橋二三男『造園図面の表現と描法2』誠文堂新光社、1985年

作品第1課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	1. 作品：課題図面①～④をトレースしたトレーシングペーパーA2サイズ×4 枚 (もしくはA3サイズ×8枚)
-----------------	---

初回提出物 (一括送付)	2. 添削指導評価書 (『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入) 3. 返送用宛名シール (返送先明記、発送時と同額の切手を貼付) ※トレーシングペーパーは折りたたまず丸めた形で作品提出用角筒に入れて提出。 ※ A3サイズ×8枚を提出する場合は、提出物をA3クリアフォルダにまとめ、作品送付用大型封筒 (A3サイズ) に入れて提出することも可 (図面は折りたたまないこと)。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出作品 2. 再提出用添削指導評価書 (『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入) 3. 前回提出 (=D評価) の添削指導評価書 (添削文含む) および作品 4. 返送用宛名シール (返送先明記、発送時と同額の切手を貼付)

課題の内容

●内容

製図法は様々な授業のベースとなる技術です。図面をトレースすることにより、設計やデザインに取り組むうえでの基礎的な製図力を身に付けることができます。

トレーシングペーパー (A2サイズもしくはA3サイズ) を使用して、課題図面A3×5枚 (Web教材の「デザイン基礎1_トレース用図面」) をトレースしてください。トレース方法については、Web教材の「デザイン基礎1_トレース課題について」を参照してください。また、全ての提出用紙下に学籍番号と氏名を記入してください。

TW	デザイン基礎2（ランドスケープデザイン） 樹木ファイル制作 科目コード： 73602
配当年次	1年次～
単位数	2
履修の前提条件	なし
履修方法	作品第1課題のみ
課題提出形態	郵送・窓口
課題数	1
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。
単位修得試験	無
担当者	石山麻子、増永滋生、高梨武彦*

科目概要と到達目標

ランドスケープデザインにおいて取り扱われる代表的な素材のひとつは植物です（室内に配置される植物も含め）。身近に存在し、常に見慣れている植物であっても、その植物の特性を知って庭園設計や緑地の管理に取り組むことが必要です。

本科目では、ランドスケープデザインにおいて取り扱われる樹木の特徴をまとめ、オリジナルの樹木ファイルの制作を通して、樹木に親しむことで知識を習得し、あわせてデザインへの応用力を身につけることを目指します。

評価基準と成績評価方法

1. 情報・資料の活用
2. 内容の正確さ
3. レイアウトの美しさと適切さ
4. わかりやすさ
5. 引用文献の正確な表記

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『木と森の生態そして花の意匠』
参考文献・URL	『樹に咲く花Ⅰ～Ⅲ』（山溪ハンディ図鑑）山と溪谷社 大橋広好ら編『日本の野生植物1～5』平凡社 植物図鑑 吉山寛『落葉図鑑』文一総合出版

参考文献・URL	尼川大録・長田武正『検索入門 樹木①・②』保育社 尼川大録・長田武正『検索入門 樹木（総合版）』保育社 林弥栄監修『原色樹木大図鑑』北隆館 林将之『樹木の葉 実物スキャンで見分ける1100種類（山溪ハンディ図鑑）』山と溪谷社 馬場多久男『葉でわかる樹木 625種の検索』信濃毎日新聞社 ゴルファーの緑化促進協力会編『図解 植木・芝生・花壇の手入れ—学校・公園・庭園・家庭の緑化の手引』博友社
----------	--

作品第1課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	1. 作品：A4 サイズのクリアブック1冊（ファイルには「学籍番号」「氏名」「科目名」を明記または貼付） 2. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付）
再提出物 (一括送付)	1. 再提出作品 2. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3. 前回提出（=D評価）の添削指導評価書（添削文含む）および作品 4. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付）

課題の内容

この科目は課題に取り組むにあたってシラバスとは別にWeb教材が用意されています。airU内の「テキスト・教材学習」ページからWeb教材を閲覧・ダウンロードし、課題に取り組んでください。

●内容

あなたが興味を持った樹木30種について、自身が使うことを想定して樹木ファイルをWeb教材としてあげている「参考レイアウト」に沿って作成してください。ソメイヨシノのように広く流通し、学名の定められている園芸種は対象としてかまいません。ただし、学名・和名の定められていない園芸植物・改良された品種は除きます。

TW	環境デザイン基礎1（ランドスケープデザイン） 日本庭園と意匠 科目コード： 73603
配当年次	2年次～
単位数	2
履修の前提条件	「デザイン基礎1、2（ランドスケープデザイン）」「環境デザイン演習［ランドスケープデザイン］I-1、I-2」を合格済みであること。
履修方法	作品第1課題のみ
課題提出形態	郵送・窓口
課題数	1
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。
単位修得試験	無
担当者	尼崎博正*

科目概要と到達目標

平安時代から江戸時代にかけて、京都における庭園文化は宮廷の存在によって高められたといえます。また、江戸時代においては大名庭園が数多く作庭されました。それらの背景を考察し、宮廷の庭および大名庭園の特徴（立地、空間構成、意匠（デザイン）等について、社寺や武家、町衆との関係といった文化史的な事象）を視野に入れながら意識して京都・東京の庭園を理解する。

評価基準と成績評価方法

1. 情報の整理
2. 分析の正確さ
3. 考え方の独自性
4. 図面類の正確さと美しさ

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『庭造りの心と実践』、『ランドスケープデザイン原論』 『小川治兵衛の実績』
参考文献・URL	京都造形芸術大学日本庭園研究センター「大名庭園の世界」庭園学講座ⅤⅢ、2001年 重森三玲・重森完途『日本庭園史大系』社会思想社、1973～1976年 『建築と庭 西澤文隆「実測図」集』建築資料研究社、1997年

参考文献・URL	『日本庭園の美シリーズ』1～10集英社、1989年
----------	---------------------------

作品第1課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	1. 作品:課題の内容に従い作成したA4縦 1枚、A3横 2枚 2. 添削指導評価書 (『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入) 3. 返送用宛名シール (返送先明記、発送時と同額の切手を貼付)
再提出物 (一括送付)	1. 再提出作品 2. 再提出用添削指導評価書 (『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入) 3. 前回提出 (=D評価) の添削指導評価書 (添削文含む) および作品 4. 返送用宛名シール (返送先明記、発送時と同額の切手を貼付)

課題の内容

- ・全国の庭園の中から1ヶ所 (文化財庭園を主とする歴史的庭園) を自由に選定し、作庭された当時の歴史的背景と庭園の立地的・空間的・形態的・意匠的特質、および庭園のはたしている今日的意義についてそれぞれ考察しなさい。(A4縦 1枚)
- ・庭園の全体平面図をトレース (A3横 1枚) し、庭園の特性を表していると感じた1～2ヶ所の断面図 (部分断面図でも可。縮尺も入れる) を描きなさい (A3横1枚、トレースした平面図にどこの断面かを表示すること)。

TW	環境デザイン基礎2（ランドスケープデザイン） 大地の創出	科目コード： 73604
配当年次	2年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	「デザイン基礎1、2（ランドスケープデザイン）」「環境デザイン演習［ランドスケープデザイン］I-1、I-2」を合格済みであること。	
履修方法	作品第1課題のみ	
課題提出形態	郵送・窓口、airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。	
課題数	1	
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	無	
担当者	中谷丞、角田直行、高梨武彦*	

科目概要と到達目標

大地の地形や植生の特性を理解・読み取りをおこない、計画対象地における美しいランドスケープデザイン表現を修得することを目標とする。計画平面図および模型を制作する。

評価基準と成績評価方法

- ・計画の妥当性
- ・アカマツ林の保全の意識
- ・風景の読み取り
- ・美しい計画平面図・断面図および模型シート

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『デザイン基礎[ランドスケープデザイン]』
参考文献・URL	『ラクラク建築模型マニュアル』エクスナレッジ刊、2014年

作品第1課題

課題コード：11

初回提出物	1. 作品：課題の内容に従い制作したA3用紙、2～3枚
-------	-----------------------------

(一括送付)	2. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手貼付） ※airUマイページから提出する場合は、データのみ提出してください。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出用作品（初回と同様の提出形式で提出。特に添削指導評価書に記載がある場合は、その指示に従ってください。） 2. 再提出（＝2回目～）添削指導評価書 3. 前回提出（＝D評価）の添削指導評価書および作品 4. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手貼付） ※airUマイページから提出する場合は、データのみ提出してください。

課題の内容

この科目は課題に取り組むにあたってシラバスとは別にWeb教材が用意されています。airU内の「テキスト・教材学習」ページからWeb教材を閲覧・ダウンロードし、課題に取り組んでください。

●内容

計画対象地は京都・東山の裾に近い中腹部に位置し、そこには今では貴重となってしまったアカマツ壮齢二次林が成立しています。上木のアカマツ1本の大きさは樹高20m、枝張り5～6m程度。林床にはコバノミツバツツジ・モチツツジ・アセビ・ネジキ・シャシャンポ・ソヨゴなどといったアカマツ林に付随して生育する低木中木も生育する里山の姿をとどめています。そのアカマツ林内でゆっくりと佇み眺望を楽しめるランドスケープ空間を、以下に示す条件をもとに計画・設計してください。

TW	環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] Ⅰ-1 ランドスケープデザインファイル	科目コード： 73605
配当年次	1年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	なし	
履修方法	作品第1課題のみ	
課題提出形態	郵送・窓口	
課題数	1	
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。	
単位修得試験	無	
担当者	瀬長剛、飛田範夫、高梨武彦*	

科目概要と到達目標

日本および西洋の庭に関わる基礎的専門用語を学ぶ。

わが国では平安時代から現代にいたるまで数多くの庭が造営されてきた。西洋にあっても同様に地域独自の庭園が時代のなかで成立した。テキスト『ランドスケープデザイン原論』、『造園史』、『庭づくりの心と実践』にて学習し、東西の代表的な庭園についての作庭素材や技術など基本的専門用語について学びその成果を論述することで、造園の歴史的蓄積や各時代の庭園形式変化を理解することを目的とする。あわせ、いくつかの専門用語についてスケッチを作成することで、より一層の理解を深める。

評価基準と成績評価方法

1. 情報、資料の活用
2. 簡潔な説明と文章表現の正確さ
3. スケッチの表現力
4. レイアウトの美しさと適切さ

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『造園史』、『ランドスケープデザイン原論』、『庭づくりの心と実践』
参考文献・URL	岡崎文彬『造園の歴史』Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 同朋舎出版、1981-1982年 岡崎文彬編『造園事典』養賢堂、1974年 東京農業大学造園科学科『造園用語辞典』、2011年 上原敬二『造園辞典』加島書店、1975年

参考文献・URL	小野健吉『日本庭園辞典』岩波書店、2004年 森蘊『日本史小百科 庭園』（新装版）、東京堂出版、1993年
----------	--

作品第1課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	1. 作品：課題内容に従い作成したA4用紙 30枚（表紙は除く） 2. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※ 以上をA4クリアブック1冊（学籍番号・氏名を明記）にまとめて提出すること。 クリアブックとは書類を挿入する透明のポケットがブック形式になっているものです。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出作品 2. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3. 前回提出（=D評価）の添削指導評価書（添削文含む）および作品 4. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付）

課題の内容

この科目は課題に取り組むにあたってシラバスとは別にWeb教材が用意されています。airU内の「テキスト・教材学習」ページからWeb教材を閲覧・ダウンロードし、課題に取り組んでください。

●内容

①ランドスケープデザインに関する、飛鳥時代から現代にいたるまでの日本庭園に関する用語（13語）、ギリシャ時代から現代までの西洋庭園に関する用語（7語）、計20語の専門用語について簡潔に説明しなさい。用語は写真または図版を添付し200～250文字程度を目安に説明しなさい。

②つぎに、指定する日本庭園に関する用語（7語）、西洋庭園に関する用語（3語）計10語についてスケッチ（直筆）を添付し200～300文字程度を目安に美意識・感動など感想をまとめなさい。

①、②合わせて設問順（1～30の順）に作成すること。

課題作成にあたっては参考にした文献は、必ず著者・出版社・引用ページ・URLを明記すること。

なお、1用語あたりの文字数の記入は不要ですが、指定文字数より著しく過不足がある場合は再提出（D評価）の対象になります。

TW	環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] 1-2 ランドスケープデザイン表現基礎	科目コード： 73606
配当年次	1年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	なし	
履修方法	作品第1課題のみ	
課題提出形態	郵送・窓口	
課題数	1	
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。	
単位修得試験	無	
担当者	石田歩、城野愛子、佐藤勇武、藤部恭代*	

科目概要と到達目標

計画・設計・デザインにおいて、デザインの意図を伝えるためにスケッチの技術は重要です。本科目では、スケッチを通して私達を取りまく生活、風景、環境へと意識を徐々に広げながら、それらを味わい、かつ描く力を身につけます（影の描き方から3次元表現まで）。さらに、たくさん描くことにより設計や空間創造に役立つ自身のデザインボキャブラリーを蓄積することを目標とします。

評価基準と成績評価方法

1. 対象の観察力
2. 基礎的な描写力の獲得
3. スケッチにおける空間表現
4. 表現への熱意 (Aggressiveness)

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『デザイン基礎 [ランドスケープデザイン]』 pp.88～111、pp.70～75、p.66、pp.124～134、p.144（この順で読むこと）
参考文献・URL	宮後浩著『景観スケッチのコツ』学芸出版社、2002年 フランシスD.K. チン著『建築ドローイングの技法』彰国社、1994年 Allan B. Jacobs著『GREAT STREETS』MIT Press、1993年 上田篤著『図形ドリル 平面・立体ドリルの基礎を学ぶ』学芸出版社、2012年

初回提出物 (一括送付)	1. 作品：50枚以上スケッチを描いたスケッチブック（コース指定）1冊 2. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※ スケッチブックは紙面欠落防止のため、レンジャーパック（エアキャップ袋）に入れて提出すること。 ※ スケッチブック、レンジャーパックとも教材として販売しています。購入方法は『コースガイド』p.26参照。 ※ スケッチブック、レンジャーパックとも「学籍番号・氏名・科目名」を全て明記または貼付してください。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出作品 2. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3. 前回提出（=D評価）の添削指導評価書（添削文含む）および作品 4. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付）

課題の内容

コース指定のスケッチブックに、50枚のスケッチを描き、提出しなさい。

50枚の中には次のスケッチを含むこと。

・樹木の部分2枚、樹木の全体2枚、石(単体)2枚、およびweb資料に挙げた参考資料のスケッチを手本に、遠近法を取り入れた構図とした石組2枚と樹木配置(複数の樹木)2枚をスケッチしなさい。

TW	環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] II-1 住宅庭園設計 科目コード： 73607
配当年次	2年次～
単位数	2
履修の前提条件	「デザイン基礎1、2（ランドスケープデザイン）」「環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] I-1、I-2」を合格済みであること。
履修方法	作品第1課題のみ
課題提出形態	郵送・窓口、airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。
課題数	1
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。
単位修得試験	無
担当者	津田主税、宇高道雄、高梨武彦*

科目概要と到達目標

本科目では、個人住宅の建築及び庭園を一体的に設計する授業です。住まいと庭との関係や作庭の手法を学び、現代における住宅庭園のあり方を学び、平面図・立面図・断面図・イメージスケッチ等を作成し、基本的な住宅建築およびランドスケープデザインを習得することを目的とします。

評価基準と成績評価方法

1. 住まいと庭との関係の理解と立案力
2. ランドスケープのデザイン力
3. プレゼンシートのまとめ

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	「庭づくりの心と実践」 pp.26～71、pp.101～109
参考文献・URL	airU >スクーリング科目「環境デザイン [ランドスケープデザイン] II-2」>事前課題・スクーリング資料参照

作品第1課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	1. 作品：課題内容に従い作成したA3サイズ用紙（横）3枚 2. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は、データのみ提出してください。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出作品 2. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3. 前回提出（=D評価）の添削指導評価書（添削文含む）および作品 4. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は、データのみ提出してください。

課題の内容

この科目は課題に取り組むにあたってシラバスとは別にWeb教材が用意されています。airU内の「テキスト・教材学習」ページからWeb教材を閲覧・ダウンロードし、課題に取り組んでください。

TW	環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] II-2 街区公園エコ・リサーチ 科目コード： 73608
配当年次	2年次～
単位数	2
履修の前提条件	「デザイン基礎1、2（ランドスケープデザイン）」「環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] I-1、I-2」を合格済みであること。
履修方法	作品第1課題のみ
課題提出形態	郵送・窓口、airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。
課題数	1
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。
単位修得試験	無
担当者	杉山薫*

科目概要と到達目標

ランドスケープ・アーキテクチャーにおける計画や設計を進めてゆく上で、地域の特性を把握するための調査は重要である。自身が生活する地域を題材として、建築物・町並み・景観・公共空間・自然要素など、身近な地域の歴史・気候・地理的特質・生態学的特質・都市空間的特質などをフィールドワーク（現地調査）し、構想平面図を制作する。そのことにより他には見られない「地域の唯一性」に気づき、その特質を発見することを目指す。

評価基準と成績評価方法

1. 収集した情報の正確さ
2. 分析の正確さ
3. 総体的なまとまりやバランス
4. 改善内容および構想平面図の妥当性・独自性

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	佐藤郁哉『フィールドワークの技法—問いを育てる、仮説をきたえる』新曜社、2002年

初回提出物 (一括送付)	1. 作品：課題内容に従い作成したA3用紙（横）3枚。CADで平面図を描いた場合は身体測での計測図および樹木調査野張の各コピー。 2. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は、データのみ提出してください。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出作品 2. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3. 前回提出（=D評価）の添削指導評価書（添削文含む）および作品 4. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は、データのみ提出してください。

課題の内容

自身が居住する地域の「街区公園」を見つけ、その公園のフィールドワーク（現況調査）を行い、エコ・デザインの視点から検証を行います。

- 調査対象公園を中心として、半径 250メートル程度の周辺地域に対し、地域の歴史・気候などについて簡単に整理するとともに、緑地、街並み、建物、公共施設、文化財など、地域を構成するランドスケープ的資産についてまとめてください。次に、写真 2～3枚を使って、調査対象の街区公園名・所在地・現況などを含めて、対象公園の概要を説明してください。（A3横、1枚）
- 対象の街区公園の概略平面図を身体測（「環境デザイン [ランドスケープデザイン] II-1（設計1 製図基礎）」で実施）により作成してください。なお、身体測を実施するにあたって、段差・擁壁・急斜面などの危険箇所や、立入が不可能な区域などについては目測で対応してください。危険な行為は絶対に避けてください。縮尺は任意ですが、A4用紙に入るように縮小してください。その際に、図面には方位とバースケール（もしくは縮尺）および調査日を記入してください。次に、対象の街区公園に植栽されている樹木リストを作成してください。（A3横、1枚。グランドカバープランツや草本は対象外。もし1枚を超える場合は、本数の多いものから順番に記載し、1枚以内に、樹木数を抑えてください。）

TW	環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] III-1 都市のランドスケープデザイン 科目コード： 73609
配当年次	3年次～
単位数	2
履修の前提条件	「環境デザイン基礎1、2（ランドスケープデザイン）」「環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] II-1、II-2」を合格済であること
履修方法	作品第1課題のみ
課題提出形態	郵送・窓口、airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。
課題数	1
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。
単位修得試験	無
担当者	首藤直哉、宇高道雄、高梨武彦*

科目概要と到達目標

都市公園を周辺地域の利用ニーズを把握した再生計画を検討することで、都市の中での公共空間の役割について、意識を高める。
美しい模型仕上げ技術を獲得する。また、卒業制作に向けたプレゼンテーション技術の向上に資する。

評価基準と成績評価方法

1. 計画のコンセプト
2. 図面表現の正確さ
3. 模型の仕上げ・美しさ
4. プレゼンテーションシートのレイアウトの美しさ

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『ランドスケープ空間の諸相』第2章・第3章
参考文献・URL	なし

初回提出物 (一括送付)	1. 作品：課題の内容に従い作成したA3用紙（横）5枚 2. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は、データのみ提出してください。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出用作品 2. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3. 前回提出（=D評価）の添削指導評価書（添削文含む）および作品 4. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※airUマイページから提出する場合は、データのみ提出してください。

課題の内容

この科目は課題に取り組むにあたってシラバスとは別にWeb教材が用意されています。airU内の「テキスト・教材学習」ページからWeb教材を閲覧・ダウンロードし、課題に取り組んでください。

●内容

計画対象地は美術館・みやこメッセそして平安神宮など多くの人々が訪れる諸施設のある岡崎公園の一角であることを意識した計画設計をしましょう。

Web教材であげている設計対象地の与えられた敷地に対して、設計与件に対応した都市公園の計画、設計を行う。

都市公園（京都岡崎公園の一部にある京都市美術館の一角約2500㎡）の公園設計を行う。歴史的な背景を持つ都市公園として、観光客や地域住民など、様々な利用者の憩いと交流の場となる空間のデザインを目指す。また、その模型を制作する。

TW	環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] III-2 都市・地方の再生提案 科目コード： 73610
配当年次	3年次～
単位数	2
履修の前提条件	「環境デザイン基礎1、2（ランドスケープデザイン）」「環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] II-1、II-2」を合格済であること
履修方法	作品第1課題のみ
課題提出形態	郵送・窓口 ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。
課題数	1
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。
単位修得試験	無
担当者	小沼康子、齋藤豊子、高梨武彦*

科目概要と到達目標

都市あるいは地方における自然環境や美しい風景は、快適な暮らしを通して人々に安心感を与え、さらに多くの人々を誘引する魅力をもっている。これら美しい風景は人々のたゆまぬ営為により形成されていることを見過ごしてはいけない。ランドスケープデザインにおける基本的課題として、都市あるいは地方における自然環境と美しい風景の保全について学ぶことを目標とする。

評価基準と成績評価方法

1. 対象地の選定理由
2. 情報・資料の整理と活用
3. 引用文献・参考文献の正確な表記
4. コンセプトの内容、提案内容の妥当性
5. イメージスケッチの仕上げ
6. レイアウトなどの美しさ

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『ランドスケープデザインと環境保全』、『ランドスケープデザイン空間の諸相』、『学術基礎』、『学術基礎 補助教材—レポート執筆の基本・マナーとルール』
参考文献・URL	進士五十八『「農」の時代』学芸出版社、2003年

参考文献・URL	進士五十八・鈴木誠・一場博幸編著『ルール・ランドスケープ・デザインの手法―農に学ぶ都市環境づくり―』学芸出版社、1994年 樋口忠彦『日本の景観―ふるさとの原型』筑摩書房、1993年 養父志乃夫『里地里山文化論上・下巻』農山漁村文化協会、2009年 佐藤誠監修 日本交通公社編『魅せる農村景観―デザイン手法と観光活用へのヒント―』ぎょうせい、2004年 農林水産省ホームページ http://www.maff.go.jp/ 国土交通省ホームページ http://www.mlit.go.jp/ 環境省ホームページ http://www.env.go.jp/ 文化庁ホームページ http://www.bunka.go.jp/ 東京大学 c SUR-SSD研究会 『世界のSSD100―都市持続再生のツボ―』彰国社 2008
----------	--

作品第1課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	1. 課題の内容に従い作成したA3用紙(横)4～5枚 2. 添削指導評価書(『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入) 3. 返送用宛名シール(返送先明記、発送時と同額の切手を貼付) ※ 以上をA3クリアフォルダ(学籍番号・氏名を明記)にまとめ、作品送付用大型封筒(A3サイズ)に入れて作品は折りたたまずに提出すること。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出作品 2. 再提出用添削指導評価書(『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入) 3. 前回提出(=D評価)の添削指導評価書(添削文含む)および作品 4. 返送用宛名シール(返送先明記、発送時と同額の切手を貼付)

課題の内容

居住地の近隣等の都市や地方において、緑地の保全や緑化等によって地域を再生するための提案を、以下のⅠ～Ⅵの視点からまとめなさい(視点は単独でも重複でもよい)。提案は、指定する内容を、A3版(横)4～5枚にまとめなさい。

- Ⅰ これまで以上に美しい風景を形成・維持する
- Ⅱ 地域の生物多様性を保全・再生する
- Ⅲ ヒートアイランド現象の緩和など都市の温熱環境を調整する
- Ⅳ 防災機能を高める
- Ⅴ 人々が自然とふれあい人間性を回復する
- Ⅵ 人々を地域に呼びこみ、地域を活性化する

●内容

1. 以下の(1)～(5)の項目を参考に対象地域の概況を表わす。(A3横1枚)

- (1) 対象地とその選定理由を記載する。
- (2) 対象地域を広域的にとらえ、提案対象地の位置と地名、周辺の主要な河川・山地・丘陵地、鉄道・主要道、都市等の位置と名称を記載した位置図を作成する。
- (3) 自然環境の概況(気象・地形・地質、河川・水路、植物・植生、動物)を文章と図で示す。
- (4) 社会環境の概況(交通、土地利用、人口、産業等)を文章と必要に応じて図で示す。

(5) 人文環境の概況（歴史、文化等）を文章と必要に応じて図で示す。

2. 提案対象地の現況を図と写真、文章で表す。（A3横 1～2枚）

- (1) 対象地域を徒歩等で調査し、地図に踏査ルートに記載する。
 - ・踏査ルートに記載する地図は、原則として等高線の入った地図とする。
- (2) 対象地の風景を構成する土地の利用状況を区分した図を作成する（土地利用区分図の作成）。
 - ・調査ルートを記載した図に農地、樹林、草地、水面、市街地等を区分し、着色する。
 - ・農地は、田、畑、果樹園、茶畑等を区分し、作物を記入する。
 - ・樹林は、針葉樹林、常緑広葉樹林、落葉広葉樹林、竹林、新植地等に区分し、代表的な樹種を記載する。
 - ・市街地は、低層住宅、中層住宅、商店、工場、寺社、学校等に区分する。
- (3) 調査の中で関心を持った風景や風景の構成要素の位置、状況を示す。
 - ・位置は、土地利用区分図に記載する。
 - ・状況は、風景や風景の構成要素それぞれについて、写真と文章（名称又は見出し、説明、感想）で示す。

3. 課題の整理とコンセプトおよび基本方針を表わし、つぎに風景の魅力を高め、地域を活性化するための企画を表わす（A3横1枚）。

- (1) 地域を再生するための現況の課題を、前出のI～VIの視点を踏まえて（視点は1つ以上とする）、図と文章で表現する。
- (2) 現況の課題を踏まえてコンセプトおよび基本方針を文章等で表現する。

4. 地域の活性化につながる提案について具体的な内容をイメージスケッチ（もしくはイメージ写真）と文章で表現する。（A3横1枚）

TX	環境デザイン演習 [ランドスケープデザイン] IV 卒業制作	科目コード： 73613
配当年次	4年次～	
単位数	4	
履修の前提条件	「卒業制作（3～6）」の履修の前提条件を充足していること（詳細は『コースガイド』pp. 6～7「5. 卒業制作着手要件・卒業要件」参照）。	
履修方法	作品第1課題（合格後）→作品第2課題提出	
課題提出形態	郵送・窓口	
課題数	2	
課題提出期間	第1課題 【9/20締切分】09/11～09/20【10/21締切分】10/11～10/21 第2課題 【2/07締切分】02/01～02/07	
単位修得試験	無	
担当者	高崎康隆、山田匡、由井真波、高梨武彦* 他	

科目概要と到達目標

卒業制作の最終段階を前に、これまでの成果を総括することを目標とします。第1課題は、卒業制作の中間制作物として「卒業制作1～2」スクーリングにおける研究制作の成果をまとめ作品の全体像を一旦、客観的な視点から見つめ直します。これら全体像を見直すことで今までの制作に欠けている点を補足し、制作内容相互の関連性を調整することで、卒業制作の完成度を高めます。

第2課題は、「卒業制作6」において教員より指導を受けた修正点・改善点を学生各自が整理し修正した計画平面図とします。そして、社会に向けた発表を意識し、修正点・改善点を具体的に提案書としてまとめます。

評価基準と成績評価方法

1. 総合的なまとまりやバランス
2. 分かりやすさ
3. 具体性
4. 論理性
5. 意匠性

以上の評価観点を全体として満たしていることを採点基準とします。

本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	各スクーリング時に適宜紹介

初回提出物 (一括送付)	1. 作品：課題内容に従い作成したコピー。 2. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※ 提出物のサイズや重量により第4種郵便の適用外となる場合は、宅急便・ゆうパックを利用してください。この場合、大学からの返却は宅急便着払いで行います。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出 2. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3. 前回提出（=D評価）の添削指導評価書（添削文含む）および作品 4. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付）

課題の内容

以下の（１）～（９）の項目を参考に、これまでに収集した資料から適宜抜粋し、A4～A1用紙（縦使い・横使い自由）にまとめて提出してください。添付資料にはすべて学籍番号・氏名を明記のこと。

サイズの目安は以下のとおりです。

A4：（１）、（４）、（６）、（７）、（８）

A3～A1：（２）、（３）、（５）、（９）

- （１）計画対象の選定とテーマ設定、および提案に向けた基本的な考え方・意義。
- （２）計画敷地の立地・位置を明らかにする資料（地図など）。
- （３）計画敷地を中心とした地域・地区レベルの地形図（1/10000、1/2500）。
- （４）計画地に関わる上位計画に関する資料
（各地域の都市計画マスタープランや緑の基本計画など）。
- （５）計画地および周辺の現況調査および評価をまとめたもの
（現況写真、現況平面図、現況評価分析図）。
- （６）計画を行う上で重要と思われる歴史的資料、社会的資料、植生・地形・水系などの自然的資料、土地利用や交通などの機能的資料。
- （７）テーマから見た現状に対する問題点や課題の整理。
- （８）テーマ展開や問題点改善につながる計画の方向性、およびコンセプトをまとめたもの。
- （９）コンセプトを具体化するためのマスタープラン（全体計画平面図、A1用紙）案。

※図面、添付資料がA4サイズを超える場合はA4サイズに折って提出すること。また、資料が複数になる場合はA4クリアブックに整理して提出すること。

初回提出物 (一括送付)	1. 作品：「卒業制作6」で発表した計画平面図（あるいは断面図）の修正計画平面図（あるいは修正断面図）の白黒コピー（A1、1枚）。および、修正点・改善点についてまとめた提案書A4用紙2～3枚(表紙を除く)。 2. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3. 返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付） ※ 提出物のサイズや重量により第4種郵便の適用外となる場合は、宅急便・ゆうパックを利用してください。この場合、大学からの返却は宅急便着払いで行います。
再提出物 (一括送付)	再提出の機会なし

課題の内容

ランドスケープデザインの業務では決められた期間のなかで施主から求められた要件を満たした完成品を提出する。卒業制作では各個人が自分でテーマ、計画対象地、計画の内容など一式を1回から5回のスクーリングで担当教員のアドバイスを受けて制作し、6回目の最終審査で発表に臨む。いわば施主へのプレゼンテーションである。

卒業制作という科目は基本的にはこのプレゼンテーションと作品内容の審査をもって終了となる。ただ、審査であるから審査員（施主）から多方面の視点・視野で指摘事項を受けることとなる。この第2課題では、卒業制作6で発表した計画平面図（あるいは断面図）を、審査時に教員から指摘された事項を参考に、修正計画平面図（あるいは断面図）として白黒コピーで作成すること（A1、1枚）。審査で指摘された修正・改善箇所はポストイットで示す。

また、修正改善点についてA4用紙2～3枚（表紙を除く）に整理した提案書として作成すること（添付したい図版や写真はL版3枚以内）。

表紙には提案書とし、学籍番号、氏名を記すこと。提出方法は図面をA4サイズに折りたたみクリアファイルに入れて郵送すること。